

2 人権全般について

問1 まず、あなたは、人権や差別についてどう思いますか。

問1-1 あなたの人権は、保障されていると思いますか。(○は1つだけ)

図1-1. 自分の人権についての保障意識—全体・性別

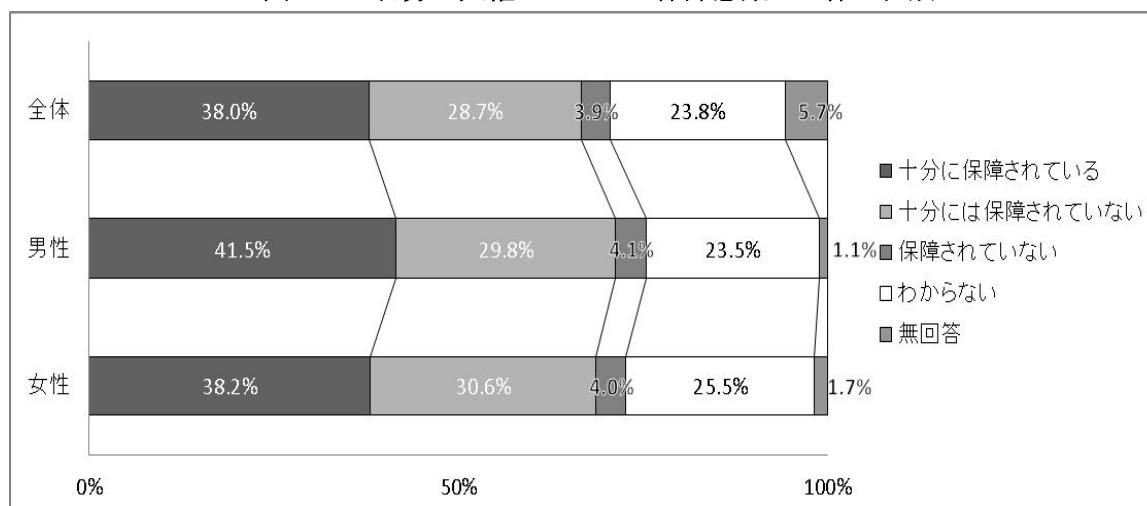


図1-1は、自分の人権についての保障意識をみたものである。

自分の人権は「十分に保障されている」と回答した人は、全体では38.0%となっている。「十分には保障されていない」または「保障されていない」と回答した人はあわせて32.6%となっている。

性別では、「十分に保障されている」と回答した人は男性41.5%、女性38.2%となっている。「十分には保障されていない」または「保障されていない」の割合は、男性33.9%、女性34.6%となっている。

表1-1. 自分の人権についての保障意識—前回の調査との比較

調査年度	自分の人権についての保障意識	十分に保障されている	十分には保障されていない	保障されていない	わからない	無回答	計
平成17年		29.7%	35.6%	6.5%	26.3%	1.9%	100.0%(2402)
平成27年		38.0%	28.7%	3.9%	23.8%	5.7%	100.0%(2138)

表1-1は、自分の人権についての保障意識について前回調査との比較をみたものである。

自分の人権は「十分に保障されている」と回答した人は、今回38.0%となっており、前回調査29.7%より8.3ポイント多くなっている。

また、自分の人権は「十分には保障されていない」または「保障されていない」と回答した自分の人権は保障されていないと感じている人は、今回32.6%であり、前回調査42.1%より9.5ポイント少なくなっている。

図 1-2. 自己的人権についての保障意識—年齢別

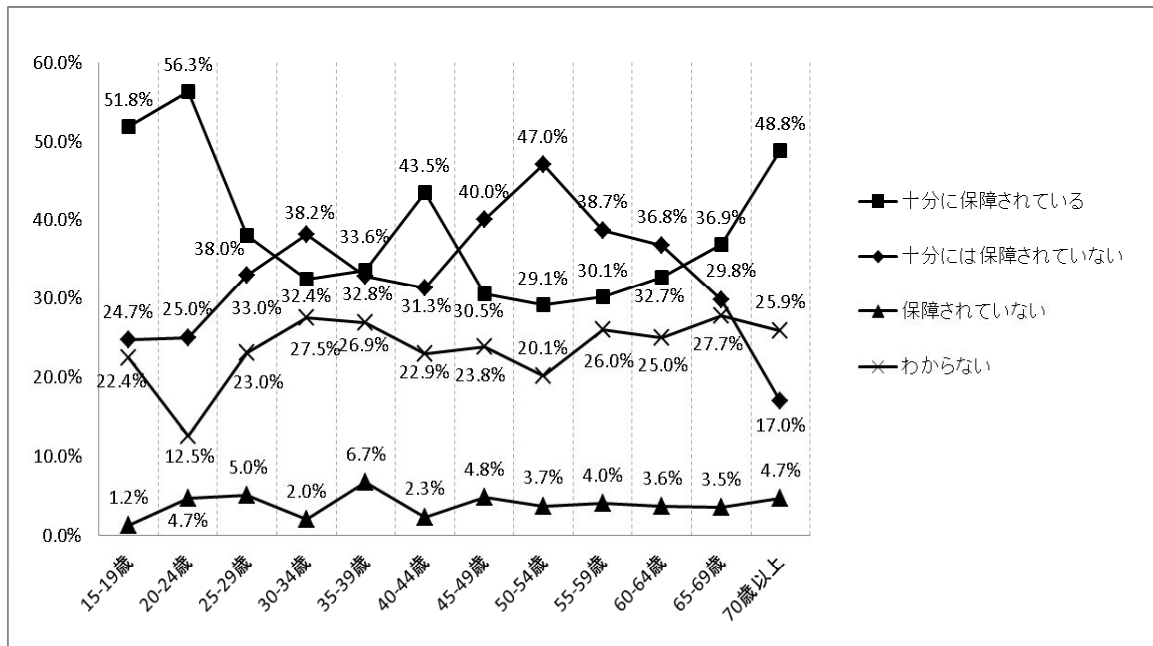


図 1-2 は、自己的人権についての保障意識を年齢別にみたものである。

自己的人権は「十分に保障されている」と回答した人は、「20 歳～24 歳」56.3%が最も高く、次いで「15～19 歳」51.8%、「70 歳以上」48.8%となっている。

「十分には保障されていない」と回答した人は、「50～54 歳」47.0%が最も高く、次いで「45～49 歳」40.0%となっている。

「保障されていない」と回答した人は、「35～39 歳」6.7%が最も高くなっている。

「わからない」と回答した人は、「65 歳～69 歳」27.7%が最も高く、次いで「30～34 歳」27.5%となっている。

問 1-2 あなたは、他の人の人権を侵害したり、人を差別していると思いますか。
(○は1つだけ)

図 1-3. 他人の人権の侵害意識について—全体・性別

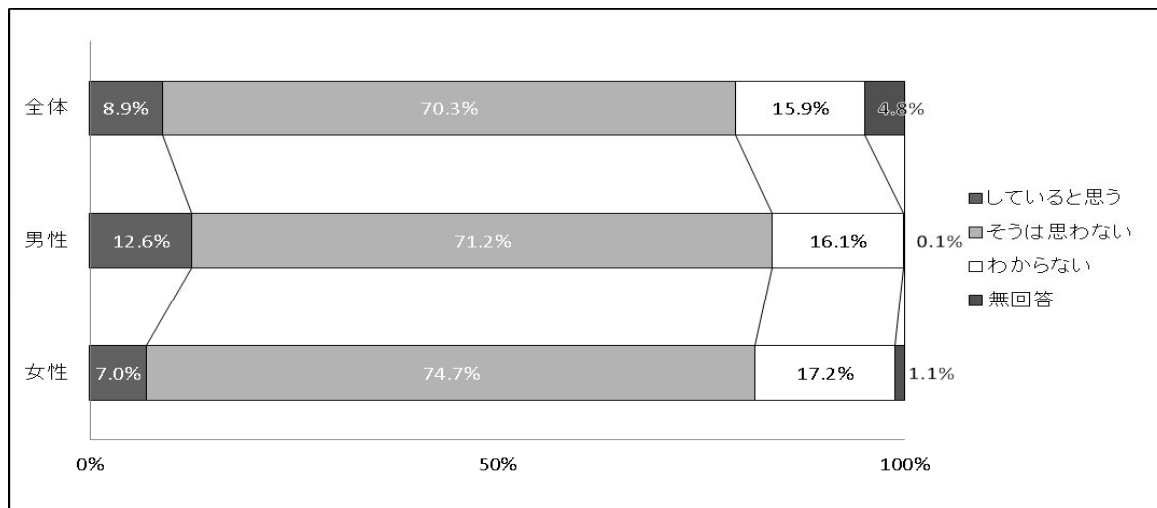


図 1-3 は、他人の人権の侵害意識についてみたものである。

他の人の人権を侵害したり、人を差別していると思うかの問いでは、「そうは思わない」と回答した人が全体では 70.3%となっている。また、「していると思う」と回答した人は 8.9%となっている。

性別では、「そうは思わない」と回答した人は、男性 71.2%、女性 74.7%となっている。また、「していると思う」と回答した人は、男性 12.6%、女性 7.0%となっている。

表 1-2. 他人の人権の侵害意識について—前回調査との比較

調査年度	他人の人権の侵害意識の有無	していると思う	そうは思わない	わからない	無回答	計
平成17年		12.3%	69.4%	17.5%	0.8%	100.0%(2402)
平成27年		8.9%	70.3%	15.9%	4.8%	100.0%(2138)

表 1-2 は、他人の人権の侵害意識について前回調査との比較をみたものである。

他人の人権の侵害意識について「そうは思わない」と回答した人は、今回は 70.3%であり、前回調査は 69.4%となっている。

また、「していると思う」と回答した人は、今回は 8.9%であり、前回調査は 12.3%となっている。

図 1-4. 他人の人権の侵害意識について一年齢別

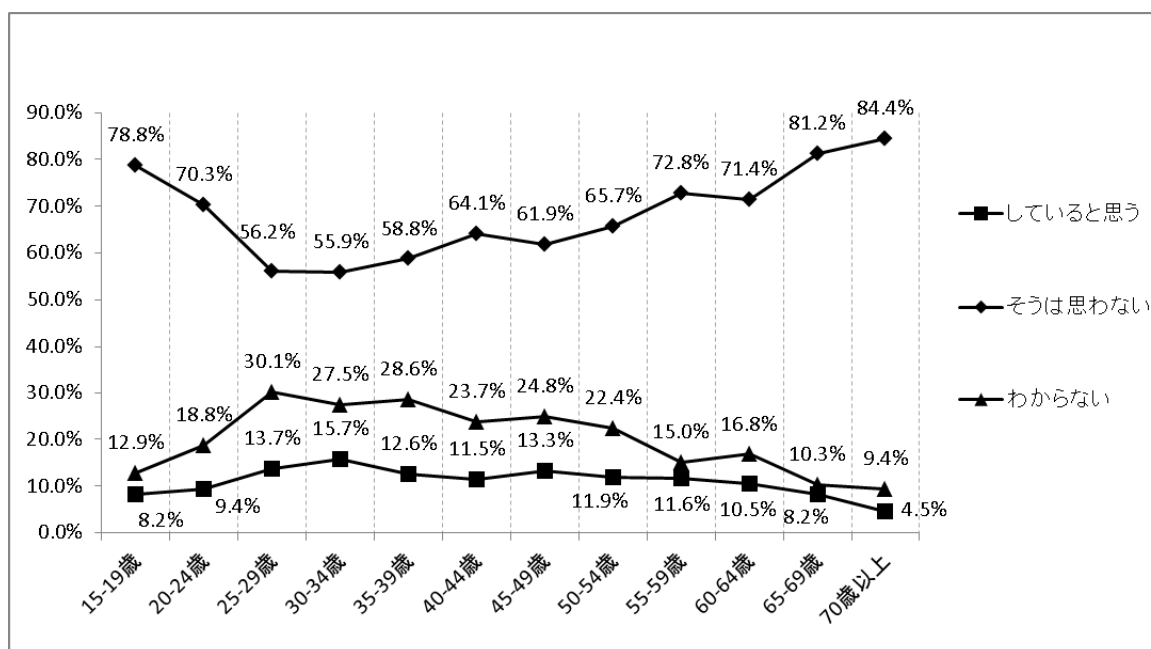


図 1-4 は、他人の人権の侵害意識について年齢別にみたものである。

「そうは思わない」と回答した人は、「70 歳以上」84.4%が最も高く、次いで「65～69 歳」81.2%、「15～19 歳」78.8%となっている。

「思っている」と回答した人は、「30～34 歳」15.7%が最も高く、次いで「25～29 歳」13.7%となっている。

「わからない」と回答した人は、「25 歳～29 歳」30.1%が最も高く、次いで「35～39 歳」28.6%となっている。

表 1-3. 「自分の人権についての保障意識」と「他人の人権の侵害意識の有無」との関連性

他人の人権の侵害意識の有無 自分の人権についての保障意識	思っている	そうは思わない	わからない	無回答	計
十分に保障されている	4.6%	86.9%	8.1%	0.4%	100.0%(812)
十分には保障されていない	17.1%	62.4%	20.2%	0.3%	100.0%(614)
保障されていない	26.5%	60.2%	12.0%	1.2%	100.0%(53)
わからない	5.1%	67.3%	27.2%	0.4%	100.0%(508)

表 1-3 は、問 1-1「自分の人権についての保障意識」と問 1-2「他人の人権の侵害意識の有無」との関連性をみたものである。

自分の人権が「十分に保障されている」と回答した人の「他人の人権の侵害意識の有無」に対する回答内訳は、「していると思う」4.6%、「そうは思わない」86.9%となっている。「十分には保障されていない」と回答した人については、「していると思う」17.1%、「そうは思わない」62.4%となっている。

「保障されていない」と回答した人については、「していると思う」26.5%、「そうは思わない」60.2%となっている。

問1-3 あなたは、差別は犯罪であると思いますか。(〇は1つだけ)

図1-5. 差別のもつ犯罪性への認識—全体・性別

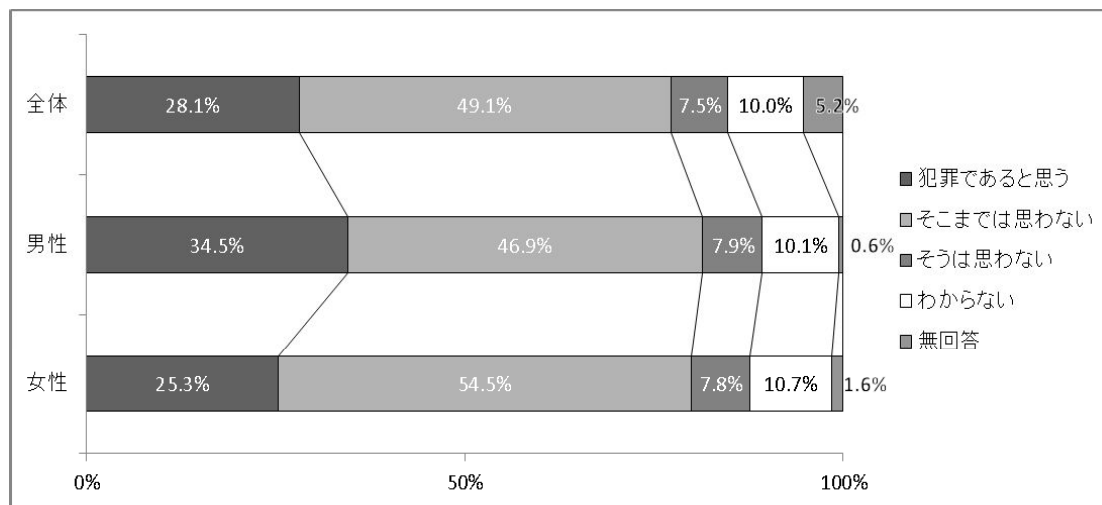


図1-5は、差別のもつ犯罪性への認識をみたものである。

差別は犯罪であると思うかの問いでは、「犯罪であると思う」と回答した人が全体では28.1%となっている。また、「そこまでは思わない」と回答した人は49.1%、「そうは思わない」7.5%となっている。

性別では、「犯罪であると思う」と回答した人は、男性34.5%、女性25.3%で男性が9.2ポイント高くなっている。

表1-4. 差別のもつ犯罪性への認識—前回の調査との比較

差別のもつ犯罪性 への認識 調査年度	犯罪であると思う	そこまでは思わない	そうは思わない	わからない	無回答	計
平成17年	31.8%	50.7%	8.7%	8.0%	0.7%	100.0%(2402)
平成27年	28.1%	49.1%	7.5%	10.0%	5.2%	100.0%(2138)

表1-4は、差別のもつ犯罪性への認識について前回調査との比較をみたものである。

差別のもつ犯罪性への認識は、「そこまでは思わない」または「そうは思わない」と回答した人は、今回は56.6%であり、前回調査は59.4%となっている。

また、「犯罪であると思う」と回答した人は、今回は 28.1%であり、前回調査は 31.8%となっている。

図 1-6. 差別のもつ犯罪性への認識—年齢別

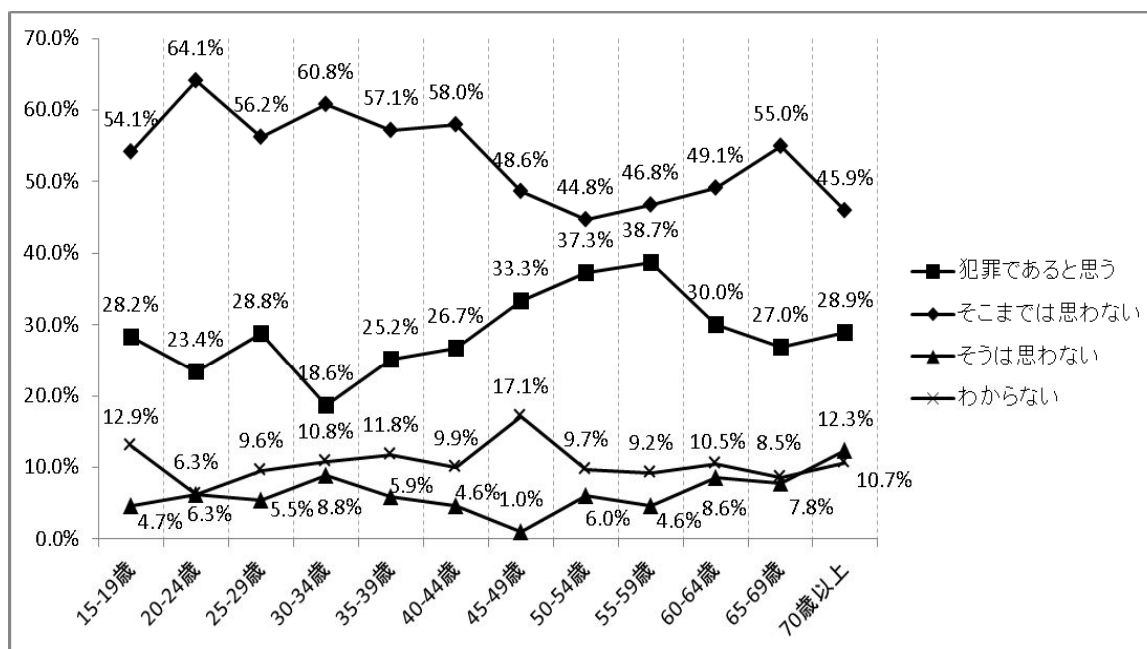


図 1-6 は、差別のもつ犯罪性への認識を年齢別にみたものである。

「犯罪であると思う」と回答した人は、「55～59 歳」38.7%が最も高く、次いで「50～54 歳」37.3%となっている。

「そこまでは思わない」と回答した人は、「20～24 歳」64.1%が最も高く、次いで「30～34 歳」60.8%となっている。

「そうは思わない」と回答した人は、「70 歳以上」12.3%が最も高くなっている。

問2 あなたの周りにおいて、次のような人権問題があると思いますか。

(各項目のおおのについて(1)から(4)までの番号のいずれか1つに○をしてください。

(1) あると思う (2) どちらともいえない (3) ないと思う (4) わからない

図2-1. 「あると思う」と回答した人の割合(項目別・割合順)

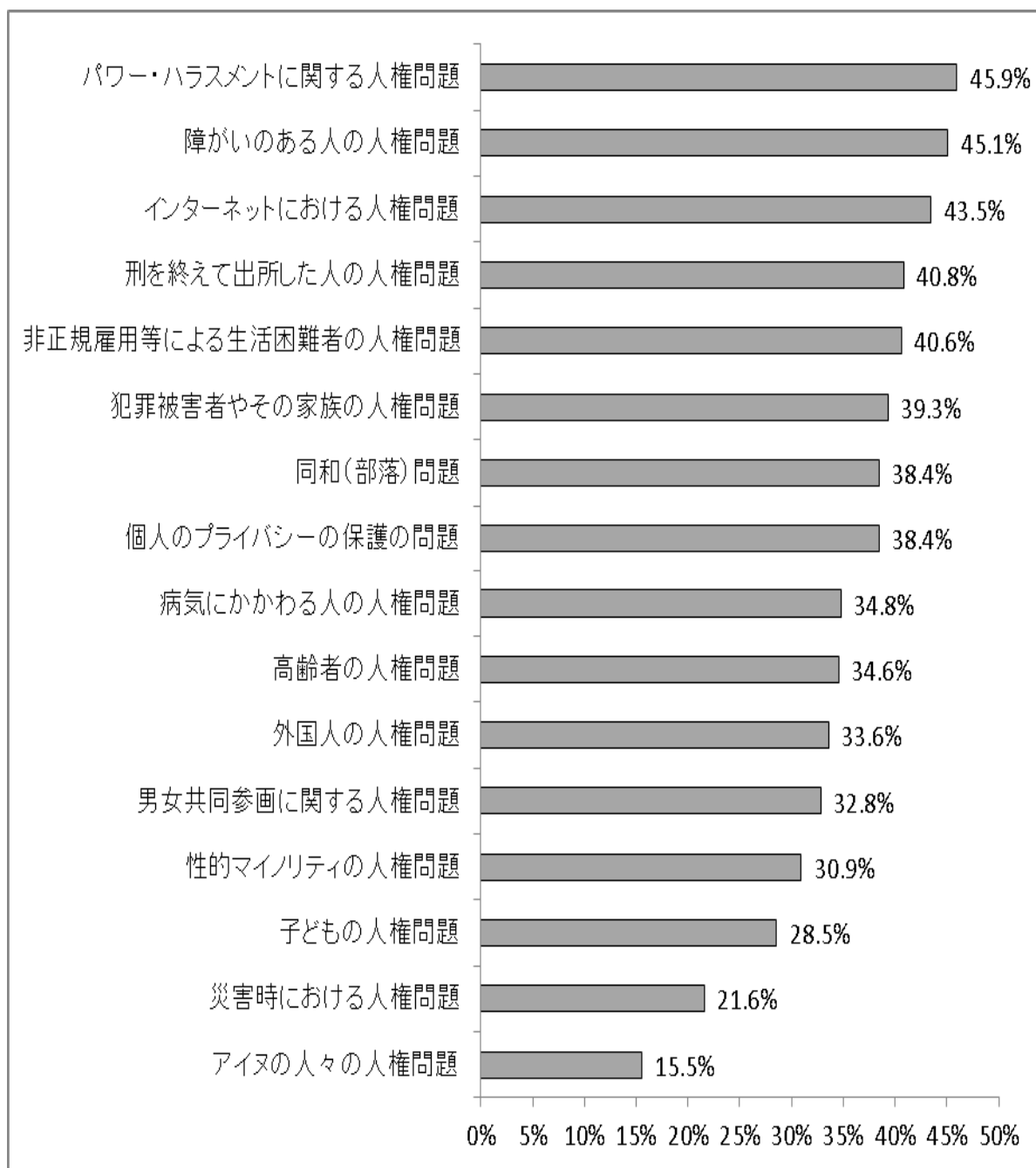


図2-1は、身近な人権問題が「あると思う」と回答した人の割合を項目別にみたものである。

身近な人権問題について、「あると思う」と回答した人の割合は、「パワー・ハラスメントに関する人権問題」45.9%が最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」45.1%、「インターネットにおける人権問題」43.5%となっている。

「アイヌの人々の人権問題」15.5%が最も低く、次いで「災害時における人権問題」21.6%、「子どもの人権問題」28.5%となっている。

1. 同和（部落）問題

図 2-2. 身近にある同和（部落）問題の存在認識—全体・性別

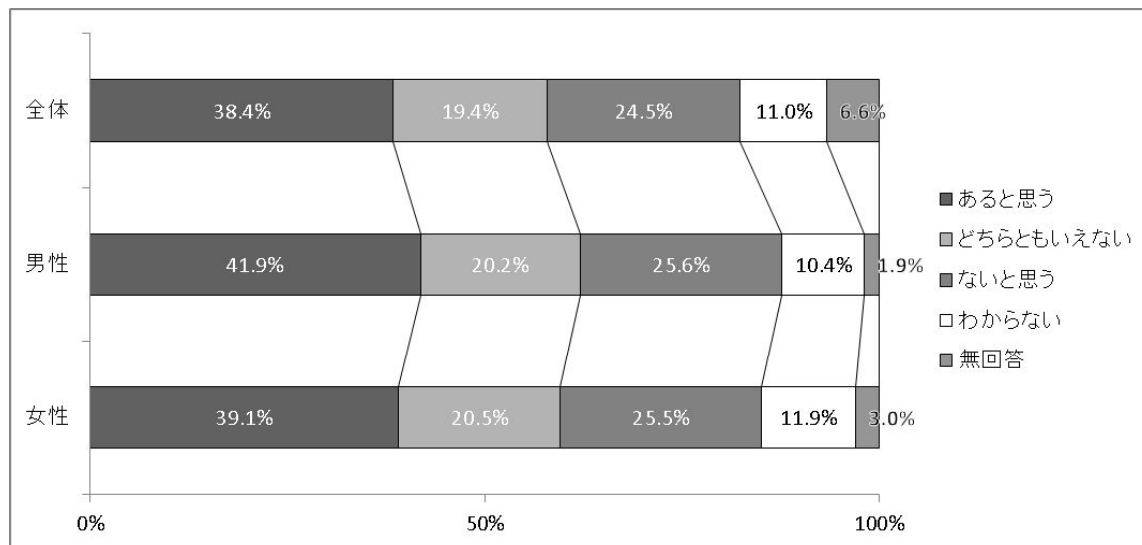


図 2-2 は、身近にある同和（部落）問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 38.4% となっており、性別では、男性 41.9%、女性 39.1% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 19.4% となっており、性別では、男性 20.2%、女性 20.5% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 24.5% となっており、性別では、男性 25.6%、女性 25.5% となっている。

図 2-3. 身近にある同和（部落）問題の存在認識—年齢別

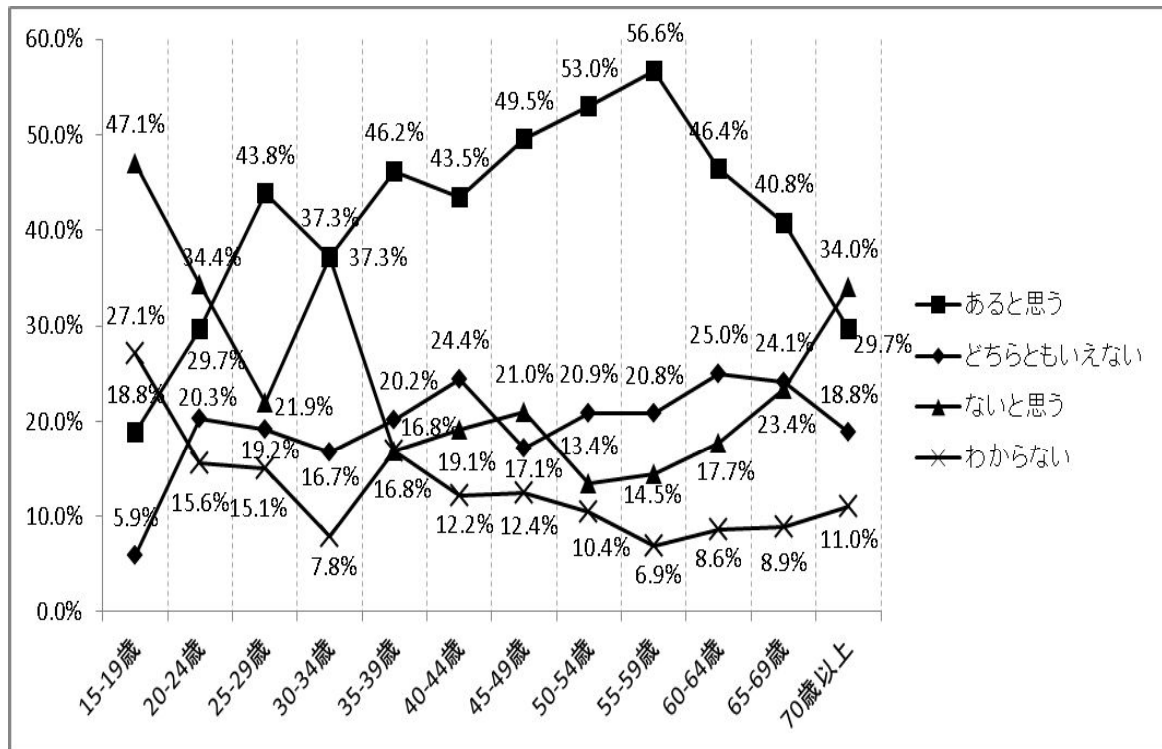


図 2-3 は、身近にある同和（部落）問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「55～59 歳」56.6%が最も高く、次いで「50～54 歳」53.0%、となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「60～64 歳」25.0%が最も高く、次いで「40～44 歳」24.4%、「65～69 歳」24.1%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」47.1%が最も高く、次いで「30～34 歳」37.3%、「20～24 歳」34.4%となっている。

2. 男女共同参画に関する人権問題

図 2-4. 男女共同参画に関する人権問題の存在認識—全体・性別

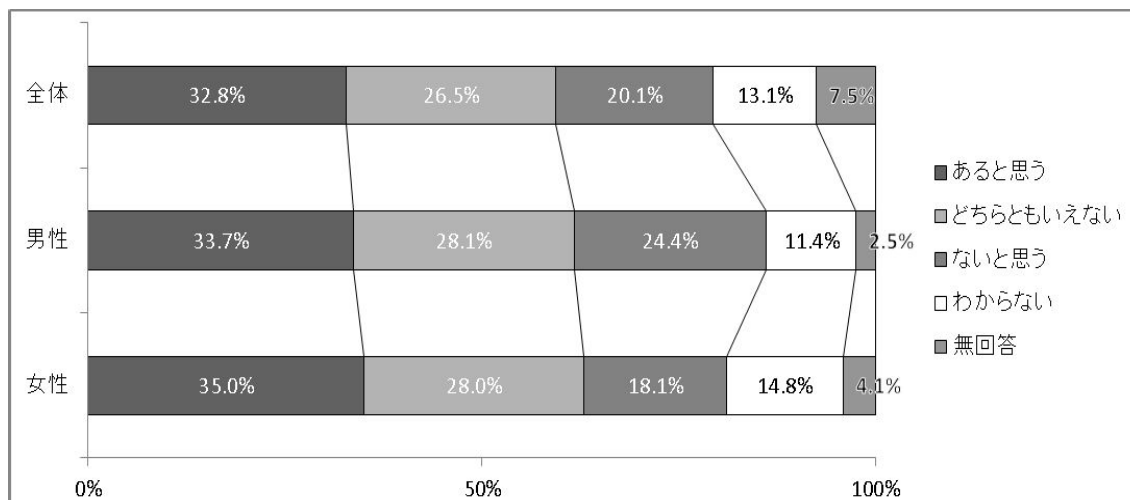


図 2-4 は、男女共同参画に関する人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 32.8% となっており、性別では、男性 33.7%、女性 35.0% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 26.5% となっており、性別では、男性 28.1%、女性 28.0% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 20.1% となっており、性別では、男性 24.4%、女性 18.1% となっている。

【参考】※設問文・選択肢の文言の一部が前回の調査と異なるため、参考としてご参照ください。

前回調査（H17 鳥取市同和問題等人権問題に関する市民意識調査）

問 2 あなたは日本において結婚や就職等社会生活の中で、次のような差別があると思いますか。（各項目のおおのについて（1）から（4）までの番号のいずれか 1 つに○をして下さい。）

1. 女性に対する差別

図 2-5. 女性に対する差別の存在認識

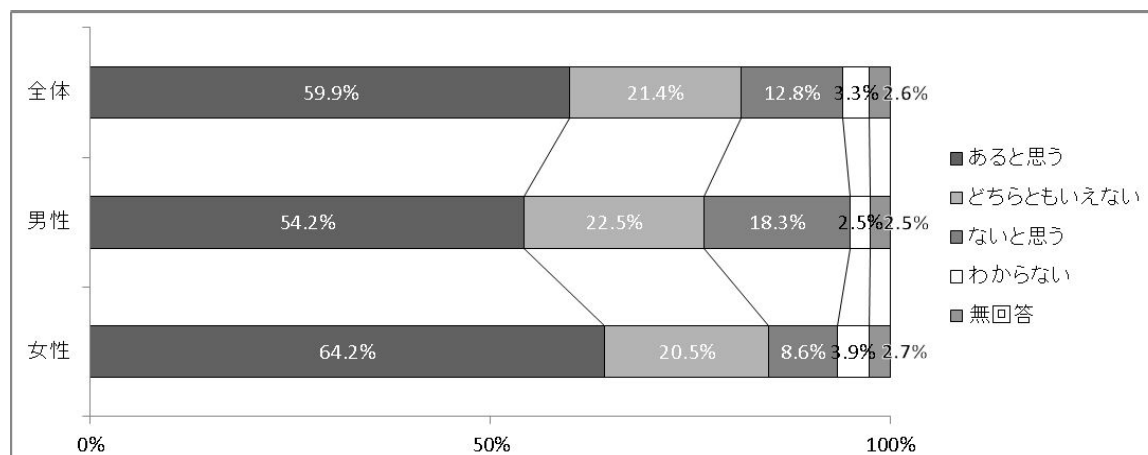


図 2-5 は、平成 17 年の前回調査で女性に対する差別の存在認識についてみたものである。

「日本において結婚や就職等社会生活の中で差別があると思いますか」の問いに対し、「あると思う」と回答した人は、全体では 59.9% となっており、「どちらともいえない」は 21.4%、「ないと思う」は 12.8%、「わからない」は 3.3% となっている。

図 2-6. 男女共同参画に関する人権問題の存在認識一年齢別

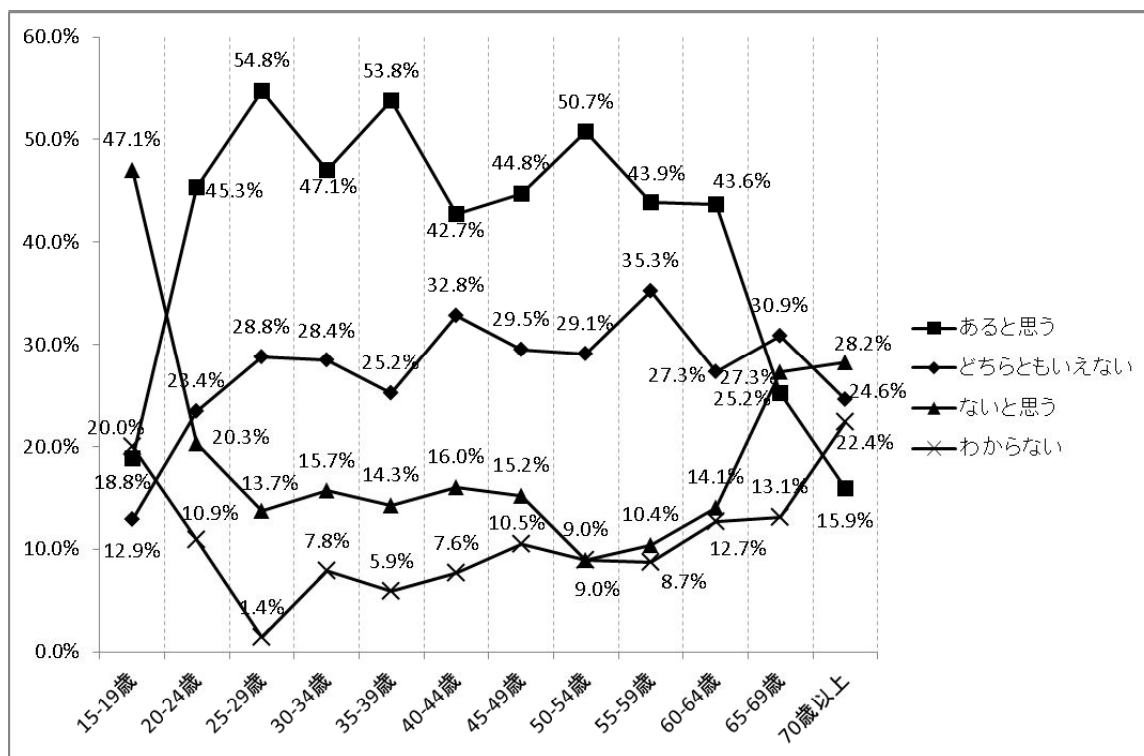


図 2-6 は、男女共同参画に関する人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「25～29 歳」54.8% が最も高く、次いで「35～39 歳」53.8%、「50～54 歳」50.7% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「55～59 歳」35.3% が最も高く、次いで「40～44 歳」32.8%、「65～69 歳」30.9% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」47.1% が最も高く、次いで「70 歳以上」28.2%、「65～69 歳」27.3% となっている。

3. 障がいのある人の人権問題

図 2-7. 障がいのある人の人権問題の存在認識—全体・性別

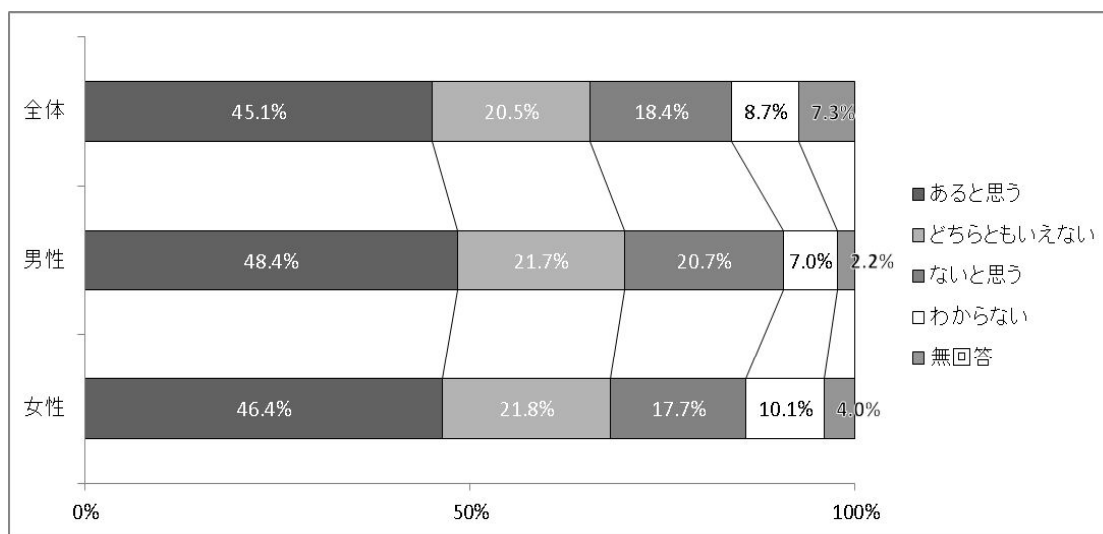


図 2-7 は、障がいのある人の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 45.1% となっており、性別では、男性 48.4%、女性 46.4% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 20.5% となっており、性別では、男性 21.7%、女性 21.8% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 18.4% となっており、性別では、男性 20.7%、女性 17.7% となっている。

【参考】※設問文・選択肢の文言の一部が前回の調査と異なるため、参考としてご参照ください。

前回調査（H17 鳥取市同和問題等人権問題に関する市民意識調査）

問 2 あなたは日本において結婚や就職等社会生活の中で、次のような差別があると思いますか。（各項目のおののおのについて（1）から（4）までの番号のいずれか 1 つに○をして下さい。）

2. 障がい者に対する差別

図 2-8. 障がい者に対する差別の存在認識

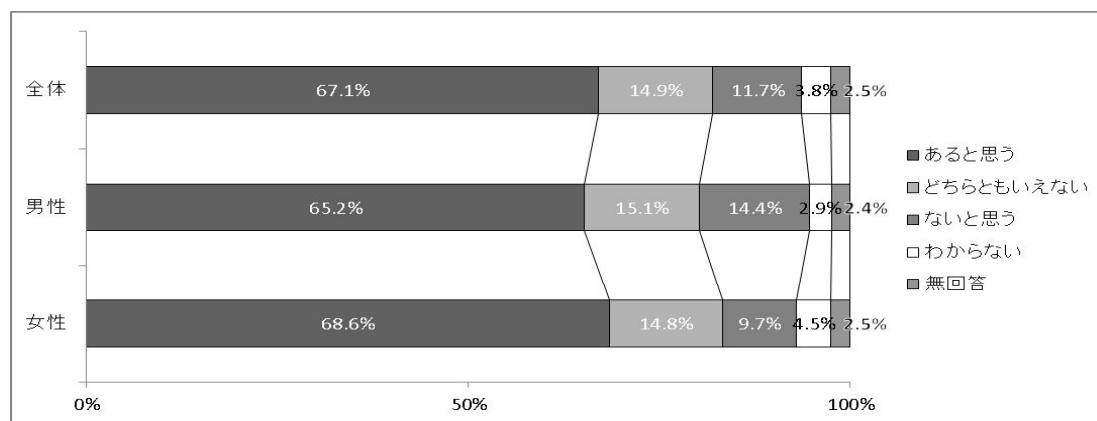


図 2-8 は、平成 17 年の前回調査で障がい者に対する差別の存在認識についてみたものである。

「日本において結婚や就職等社会生活の中で差別があると思いますか」の問いに対し、「あると思う」と回答した人は、全体では 67.1% となっており、「どちらともいえない」は 14.9%、「ないと思う」は 11.7%、「わからない」は 3.8% となっている。

図 2-9. 障がいのある人の人権問題の存在認識—年齢別

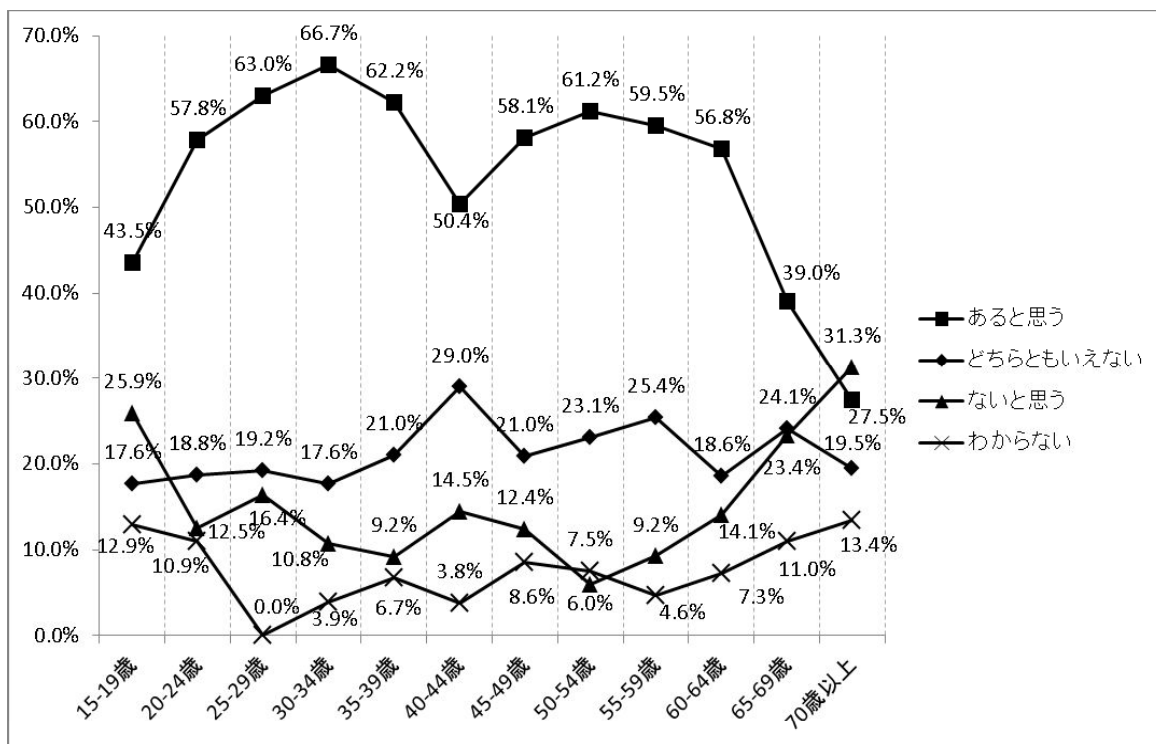


図 2-9 は、障がいのある人の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「30～34 歳」66.7% が最も高く、次いで「25～29 歳」63.0%、「35～39 歳」62.2% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」29.0% が最も高く、次いで「55～59 歳」25.4% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、70 歳以上 31.3% が最も高く、次いで「15～19 歳」25.9% となっている。

4. 子どもの人権問題

図 2-10. 子どもの人権問題の存在認識—全体・性別

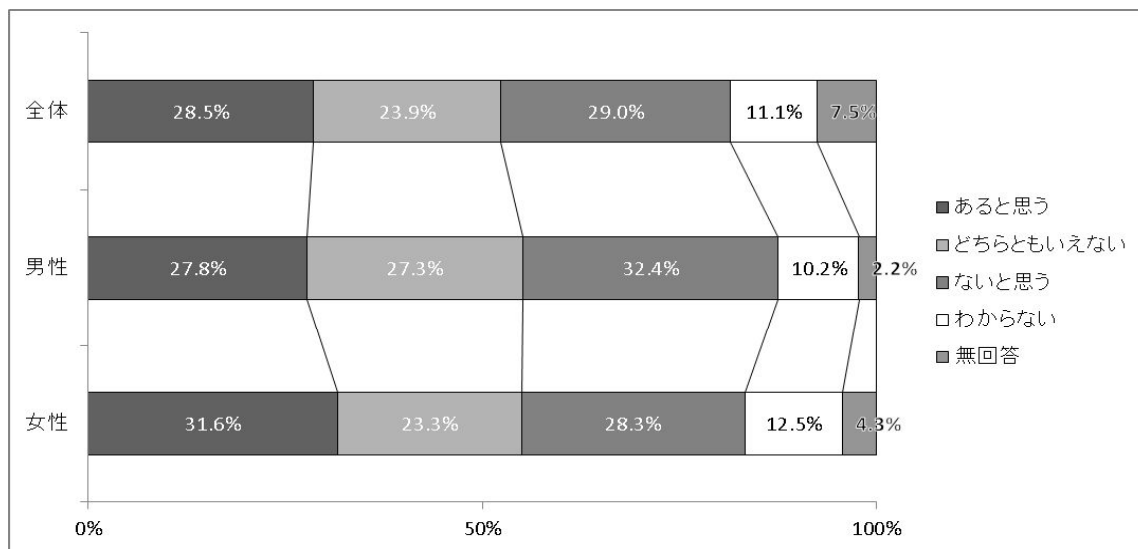


図 2-10 は、子どもの人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 28.5% となっており、性別では、男性 27.8%、女性 31.6% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 23.9% となっており、性別では、男性 27.3%、女性 23.3% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 29.0% となっており、性別では、男性 32.4%、女性 28.3% となっている。

図 2-11. 子どもの人権問題の存在認識—年齢別

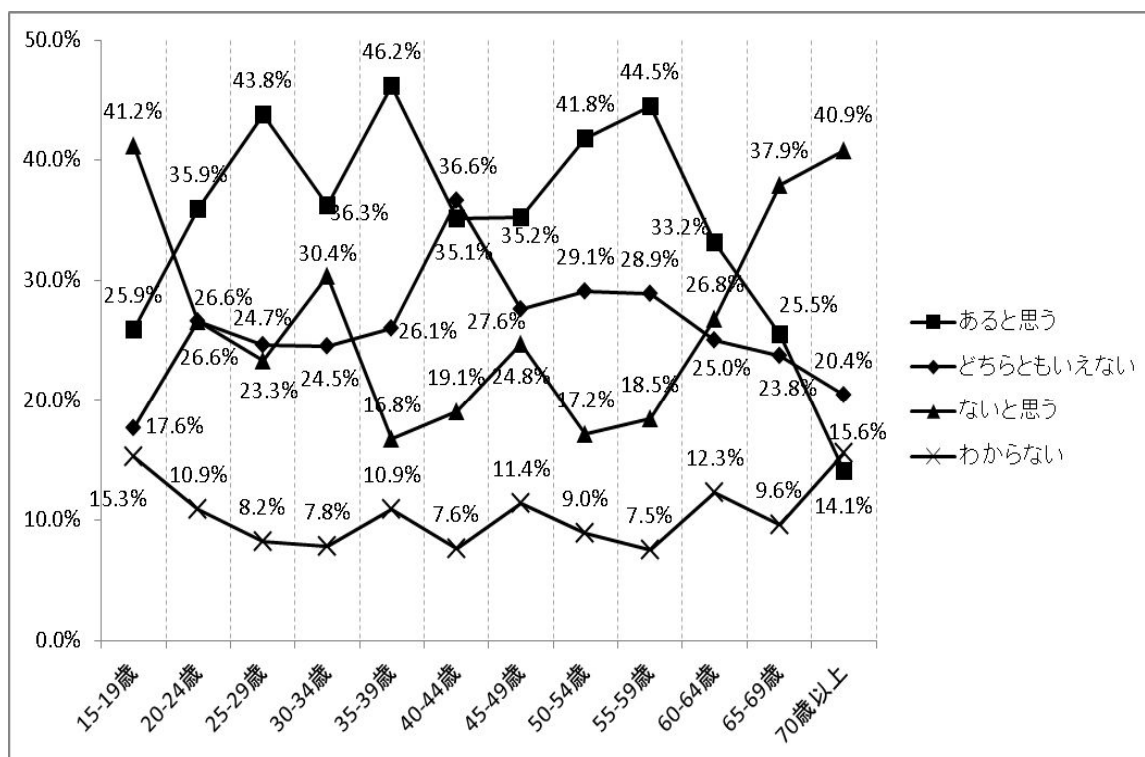


図 2-11 は、子どもの人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「35～39 歳」46.2%が最も高く、次いで「55～59 歳」44.5%、「25～29 歳」43.8%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」36.6%が最も高く、次いで「50～54 歳」29.1%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」41.2%が最も高く、次いで「70 歳以上」40.9%となっている。

5. 高齢者の人権問題

図 2-12. 高齢者の人権問題の存在認識—全体・性別

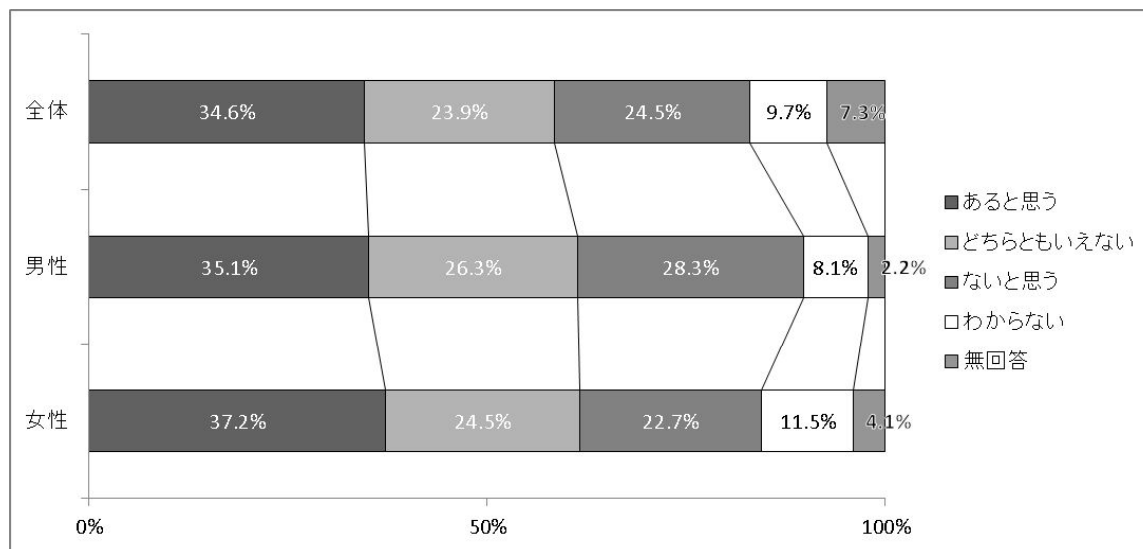


図 2-12 は、高齢者の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 34.6% となっており、性別では、男性 35.1%、女性 37.2% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 23.9% となっており、性別では、男性 26.3%、女性 24.5% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 24.5% となっており、性別では、男性 28.3%、女性 22.7% となっている。

図 2-13. 高齢者の人権問題の存在認識—年齢別

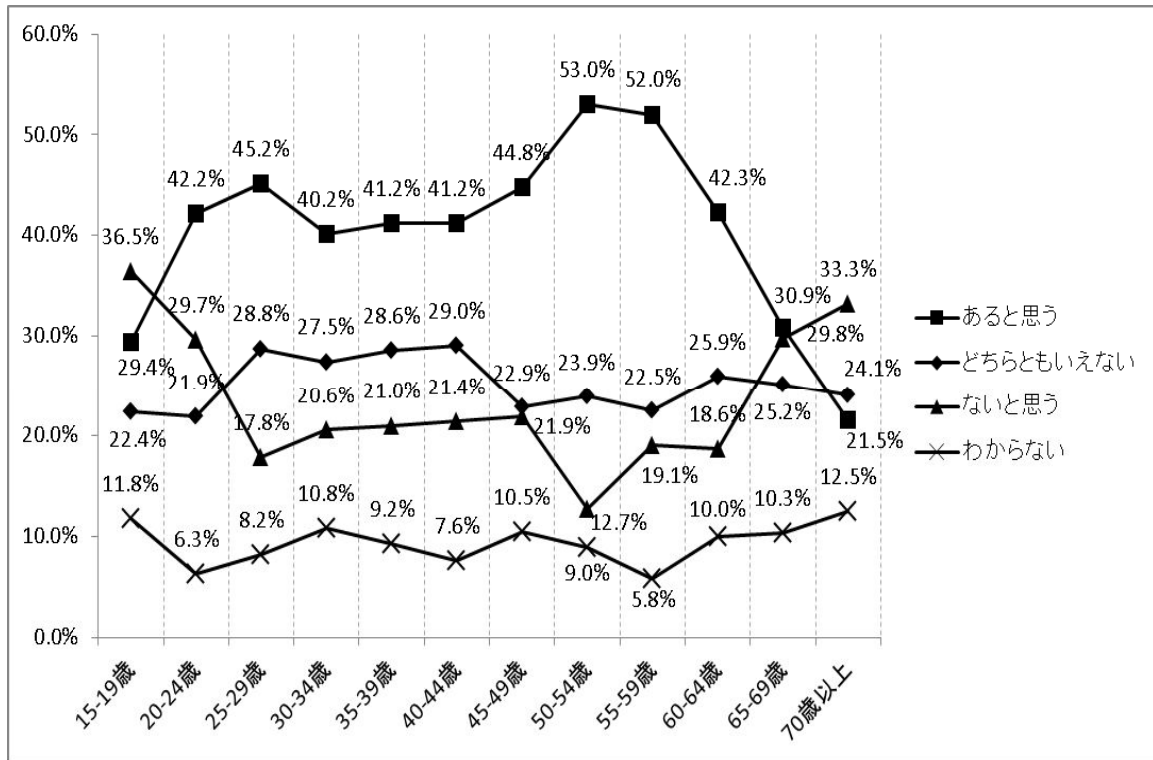


図 2-13 は、高齢者の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「50～54 歳」53.0%が最も高く、次いで「55～59 歳」52.0%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」29.0%が最も高く、次いで「25～29 歳」28.8%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」36.5%が最も高く、次いで「70 歳以上」33.3%となっている。

6. 外国人の人権問題

図 2-14. 外国人の人権問題の存在認識—全体・性別

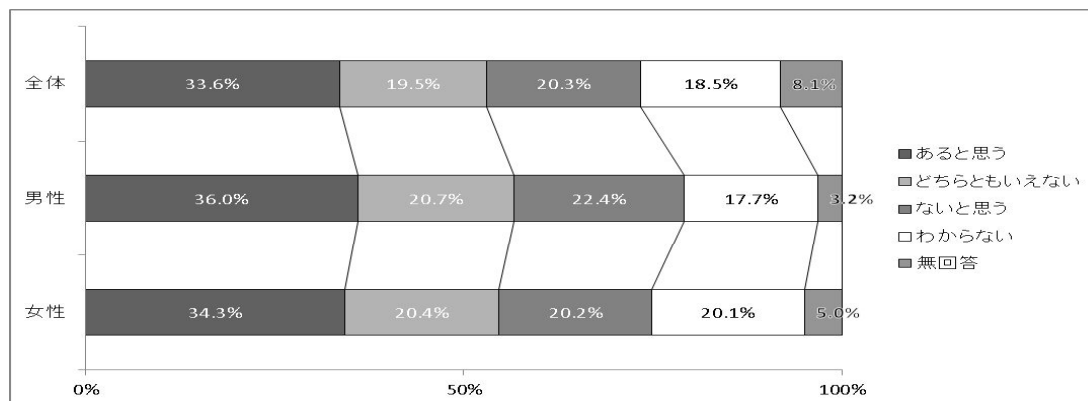


図 2-14 は、外国人の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 33.6% となっており、性別では、男性 36.0%、女性 34.3% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 19.5% となっており、性別では、男性 20.7%、女性 20.4% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 20.3% となっており、性別では、男性 22.4%、女性 20.2% となっている。

【参考】※設問文・選択肢の文言の一部が前回の調査と異なるため、参考としてご参照ください。

前回調査（H17 鳥取市同和問題等的人権問題に関する市民意識調査）

問 2 あなたは日本において結婚や就職等社会生活の中で、次のような差別があると思いますか。（各項目のおのおのについて（1）から（4）までの番号のいずれか 1 つに○をして下さい。）

3. 在日韓国・朝鮮人に対する差別

図 2-15. 在日韓国・朝鮮人に対する差別の存在認識

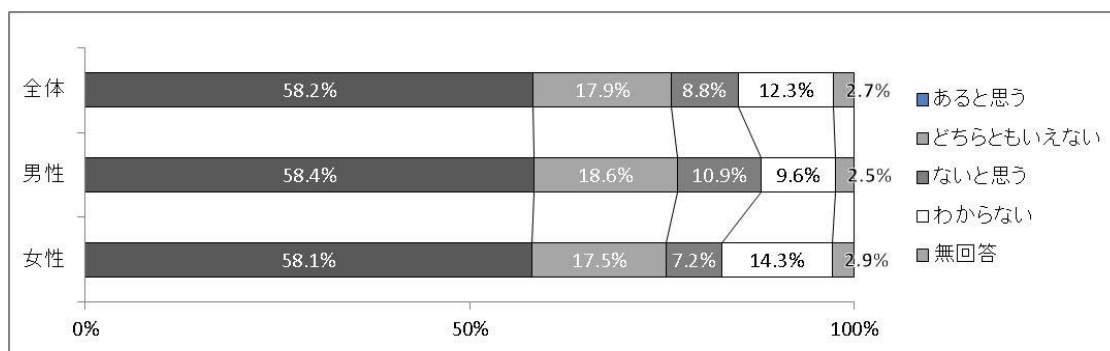


図 2-15 は、平成 17 年の前回調査で在日韓国・朝鮮人に対する差別の存在認識についてみたものである。

「日本において結婚や就職等社会生活の中で差別があると思いますか」の問いに対し、「あると思う」と回答した人は、全体では 58.2% となっており、「どちらともいえない」は 17.9%、「ない

と思う」は8.8%、「わからない」は12.3%となっている。

4. その他の外国人に対する差別

図 2-16. その他の外国人に対する差別の存在認識

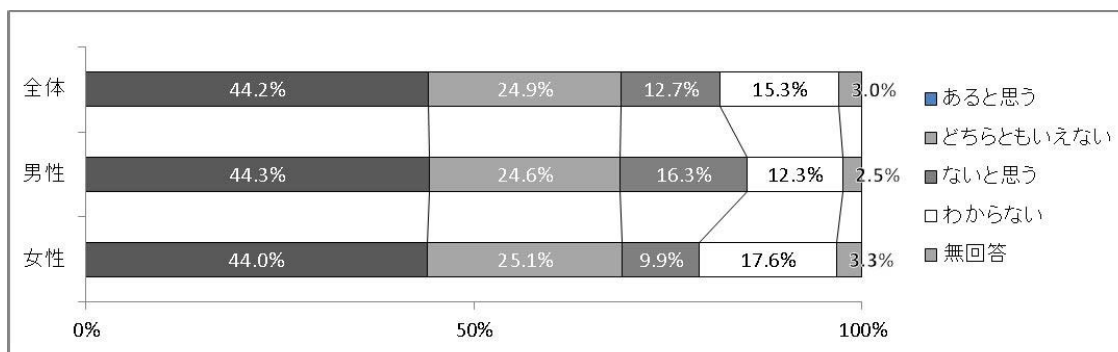


図 2-16 は、平成 17 年の前回調査でその他の外国人に対する差別の存在認識についてみたものである。

「日本において結婚や就職等社会生活の中で差別があると思いますか」の問いに対し、「あると思う」と回答した人は、全体では 44.2%となっており、「どちらともいえない」は 24.9%、「ないと思う」は 12.7%、「わからない」は 15.3%となっている。

図 2-17. 外国人の人権問題の存在認識—年齢別

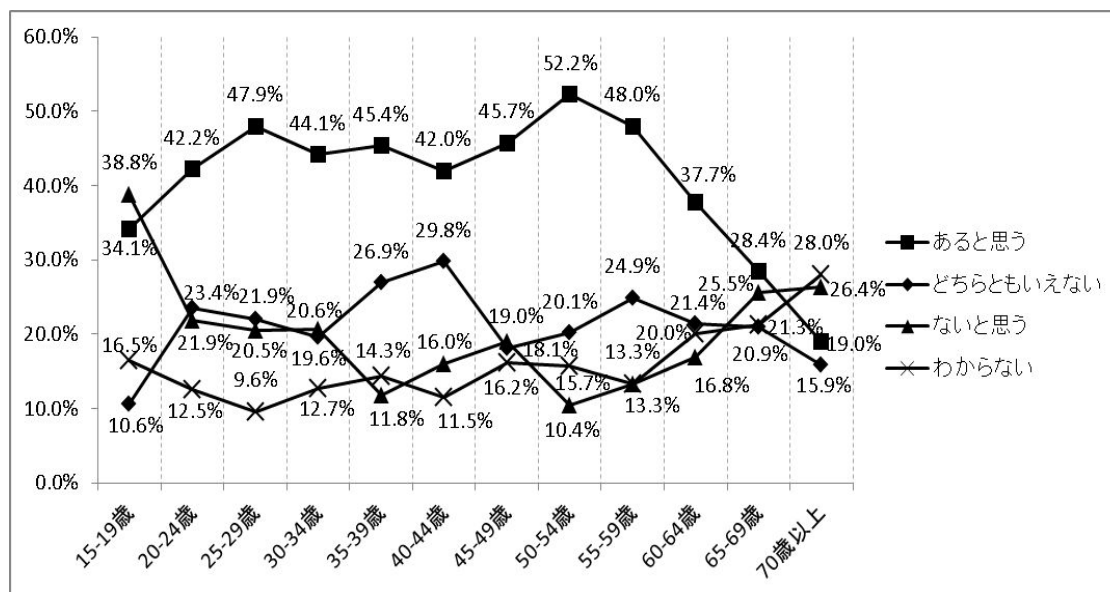


図 2-17 は、外国人の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「50～54 歳」52.2%が最も高く、次いで「55～59 歳」48.0%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」29.8%が最も高く、次いで「35～39 歳」26.9%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」38.8%が最も高く、次いで「70 歳以上」26.4%となっている。

7. 病気にかかわる人の人権問題

図 2-18. 病気にかかわる人の人権問題の存在認識—全体・性別

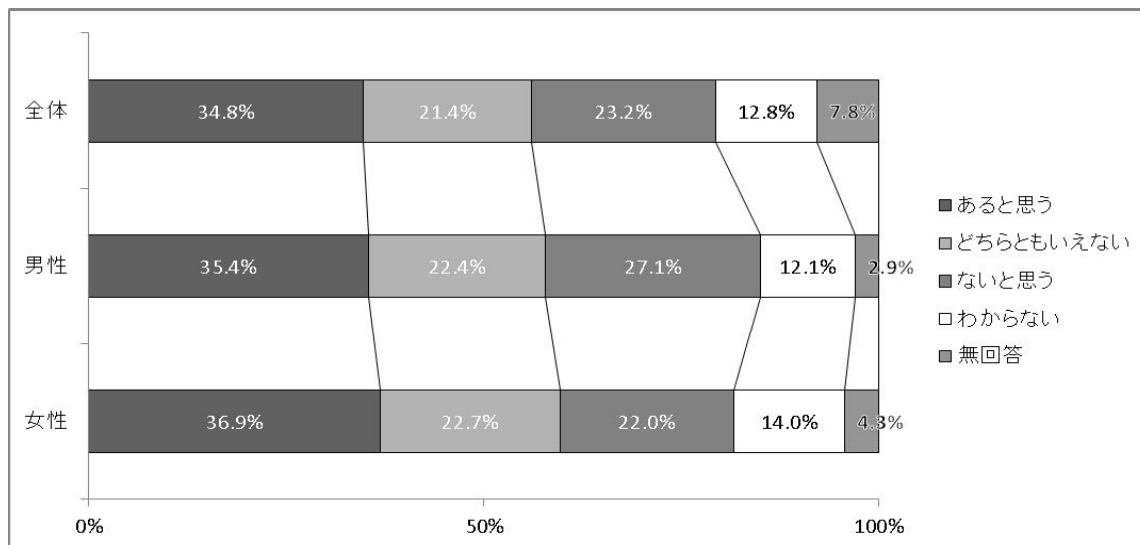


図 2-18 は、病気にかかわる人の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 34.8% となっており、性別では、男性 35.4%、女性 36.9% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 21.4% となっており、性別では、男性 22.4%、女性 22.7% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 23.2% となっており、性別では、男性 27.1%、女性 22.0% となっている。

図 2-19. 病気にかかわる人の人権問題の存在認識—年齢別

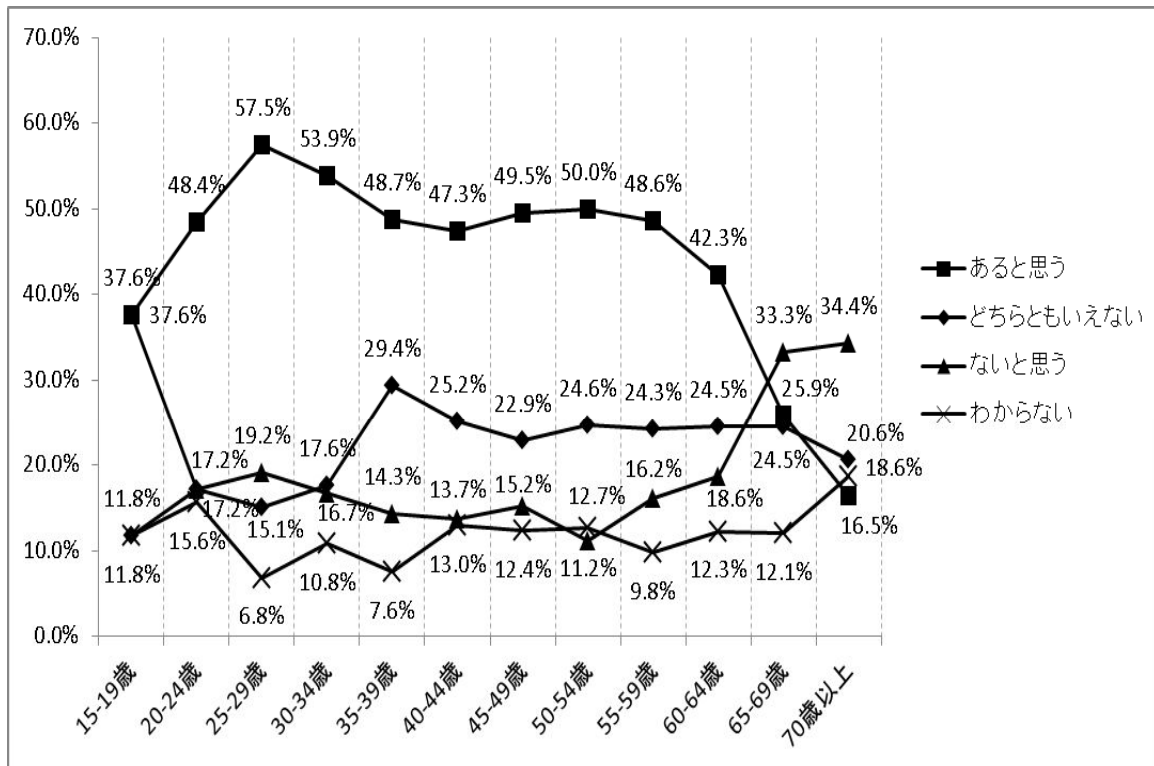


図 2-19 は、病気にかかわる人の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「25～29 歳」57.5%が最も高く、次いで「30～34 歳」53.9%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「35～39 歳」29.4%が最も高く、次いで「40～44 歳」25.2%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」37.6%が最も高く、次いで「70 歳以上」34.4%、「65～69 歳」33.3%となっている。

8. 個人のプライバシーの保護の問題

図 2-20. 個人のプライバシーの保護の問題の存在認識—全体・性別

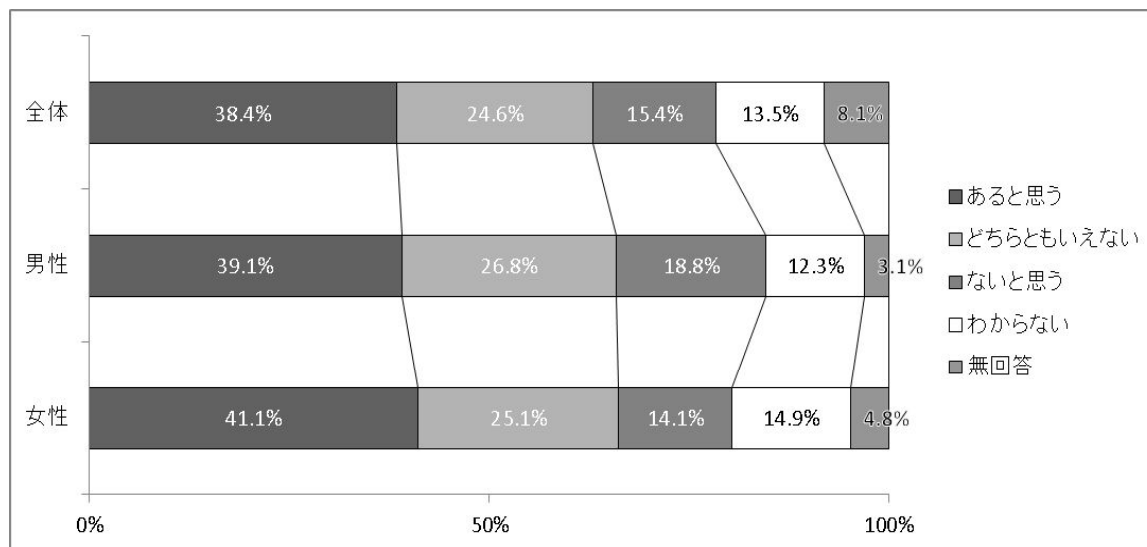


図 2-20 は、個人のプライバシーの保護の問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 38.4% となっており、性別では、男性 39.1%、女性 41.1% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 24.6% となっており、性別では、男性 26.8%、女性 25.1% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 15.4% となっており、性別では、男性 18.8%、女性 14.1% となっている。

図 2-21. 個人のプライバシーの保護の問題の存在認識—年齢別

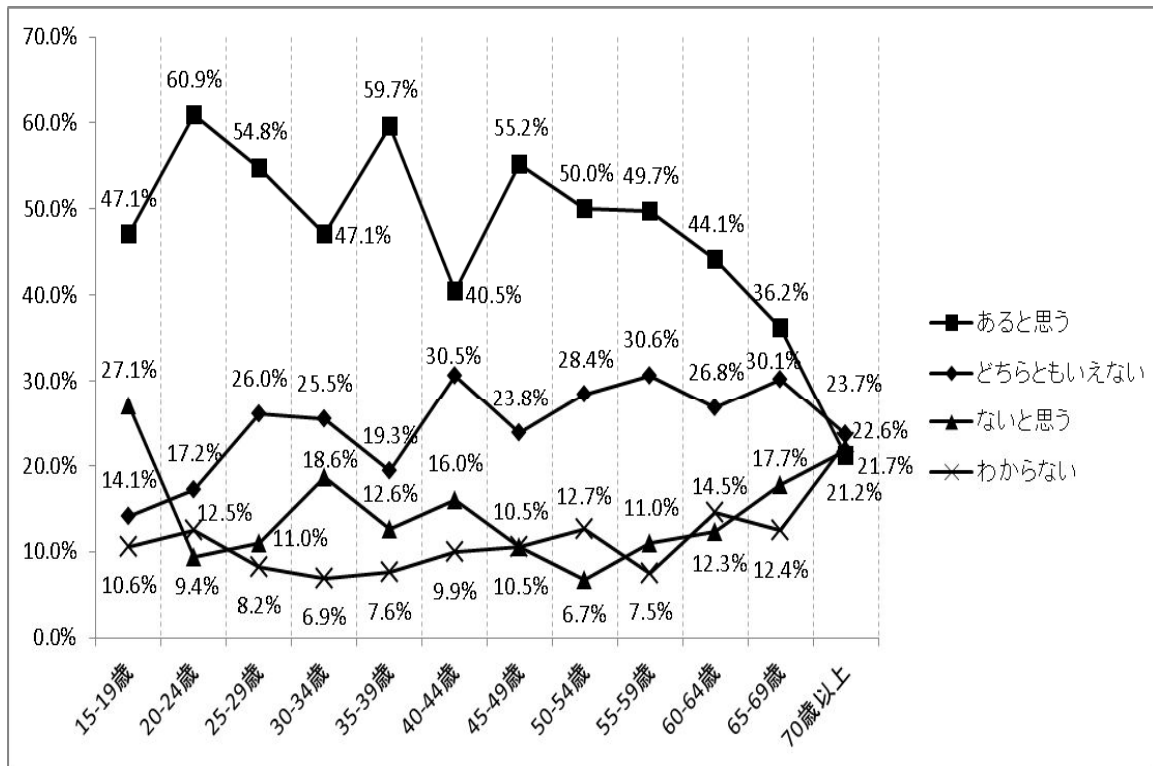


図 2-21 は、個人のプライバシーの保護の問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「20～24 歳」60.9%が最も高く、次いで「35～39 歳」59.7%、「45～49 歳」55.2%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「55～59 歳」30.6%が最も高く、次いで「40～44 歳」30.5%、「65～69 歳」30.1%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」27.1%が最も高く、次いで「70 歳以上」21.7%となっている。

9. アイヌの人々の人権問題

図 2-22. アイヌの人々の人権問題の存在認識—全体・性別

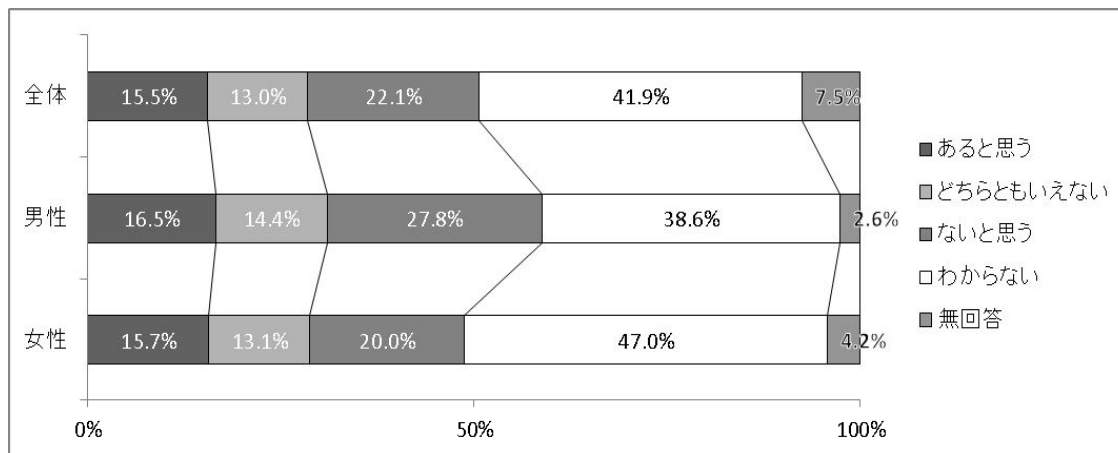


図 2-22 は、アイヌの人々の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 15.5% となっており、性別では、男性 16.5%、女性 15.7% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 13.0% となっており、性別では、男性 14.4%、女性 13.1% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 22.1% となっており、性別では、男性 27.8%、女性 20.0% となっている。

「わからない」と回答した人は、全体では 41.9% となっており、性別では、男性 38.6%、女性 47.0% となっている。

【参考】※設問文・選択肢の文言の一部が前回の調査と異なるため、参考としてご参照ください。

前回調査（H17 鳥取市同和問題等人権問題に関する市民意識調査）

問 2 あなたは日本において結婚や就職等社会生活の中で、次のような差別があると思いますか。（各項目のおのこのについて（1）から（4）までの番号のいずれか 1 つに○をして下さい。）

5. アイヌ民族に対する差別

図 2-23. アイヌ民族に対する差別の存在認識

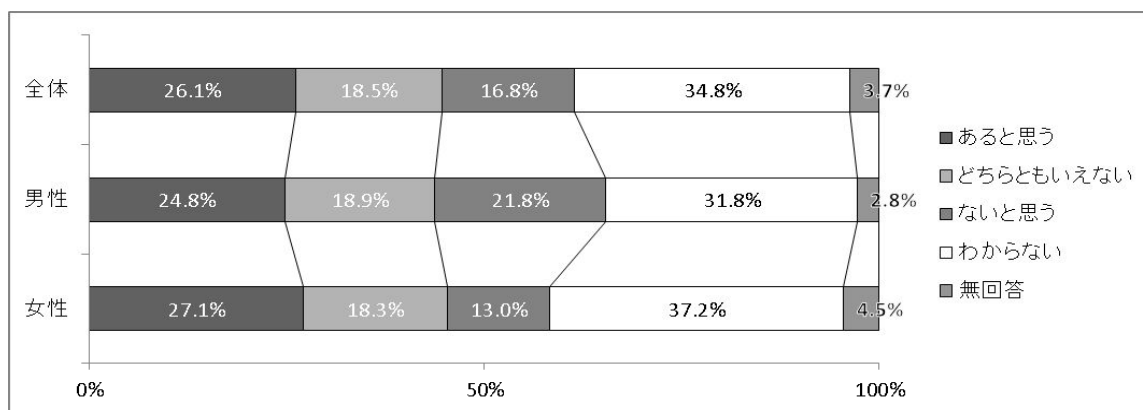


図 2-23 は、平成 17 年の前回調査でアイヌ民族に対する差別の存在認識についてみたものである。

「日本において結婚や就職等社会生活の中で差別があると思いますか」の問いに対し、「あると思う」と回答した人は、全体で 26.1% となっており、「どちらともいえない」は 18.5%、「ないと思う」は 16.8%、「わからない」は 34.8% となっている。

図 2-24. アイヌの人々の人権問題の存在認識—年齢別

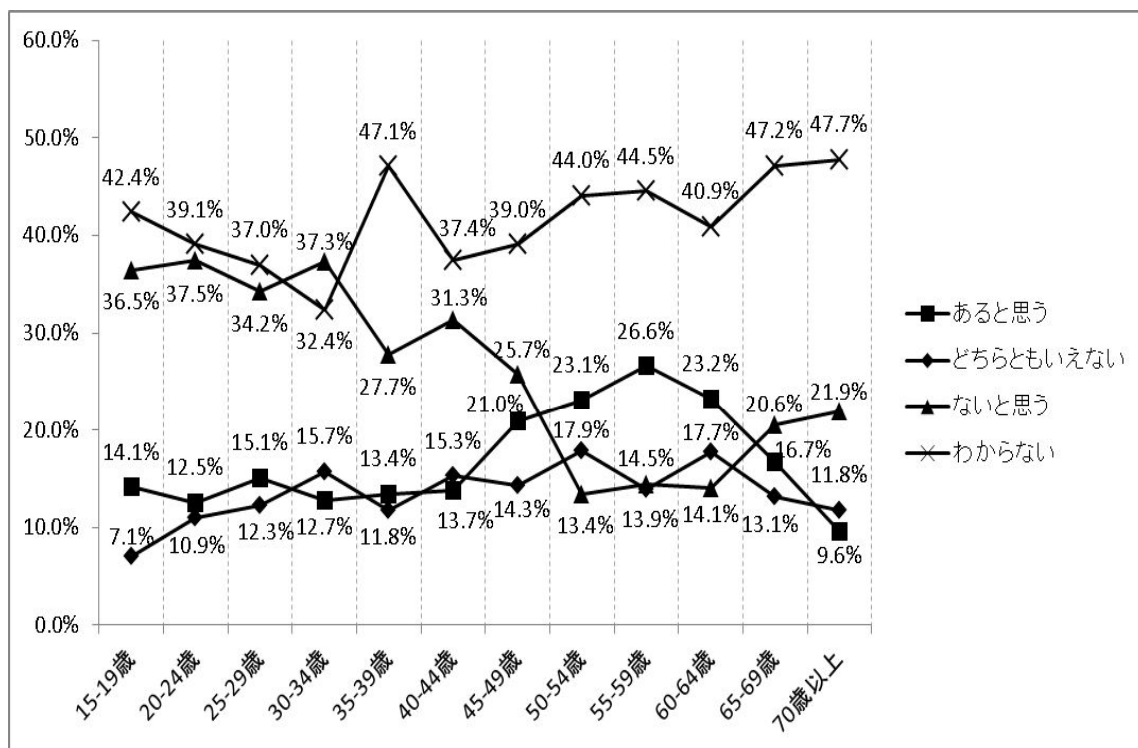


図 2-24 は、アイヌの人々の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「55～59 歳」26.6% が最も高く、次いで「60～64 歳」23.2%、「50～54 歳」23.1% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「50～54 歳」17.9% が最も高く、次いで「60～64 歳」17.7% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「20～24 歳」37.5% が最も高く、次いで「30～34 歳」37.3%、「15～19 歳」36.5% となっている。

「わからない」と回答した人は、「70 歳以上」47.7% が最も高く、次いで「65～69 歳」47.2%、「35～39 歳」47.1% となっている。

10. 刑を終えて出所した人の人権問題

図 2-25. 刑を終えて出所した人の人権問題の存在認識—全体・性別

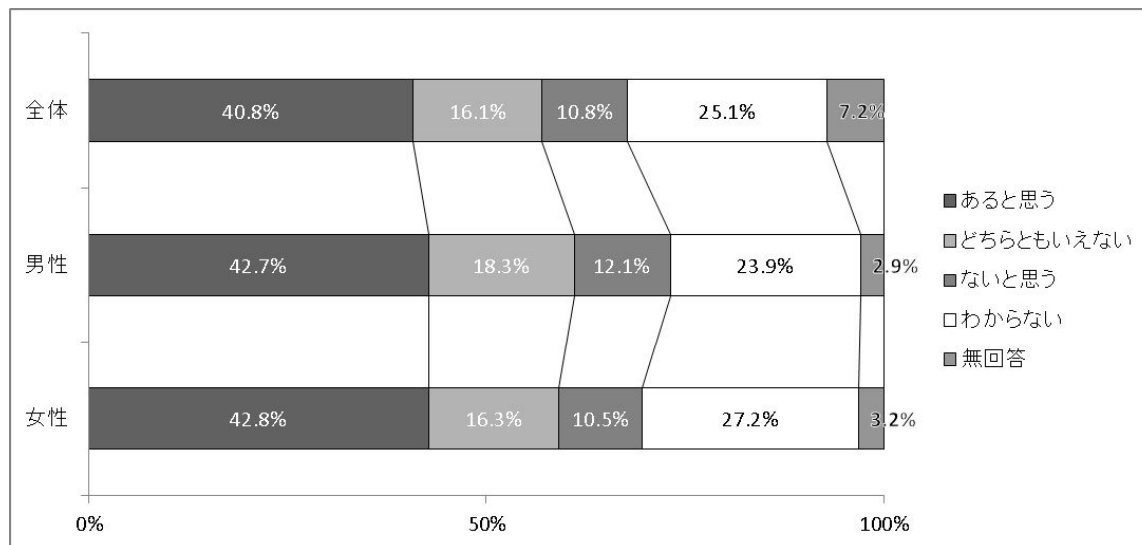


図 2-25 は、刑を終えて出所した人の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 40.8% となっており、性別では、男性 42.7%、女性 42.8% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 16.1% となっており、性別では、男性 18.3%、女性 16.3% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 10.8% となっており、性別では、男性 12.1%、女性 10.5% となっている。

「わからない」と回答した人は、全体では 25.1% となっており、性別では、男性 23.9%、女性 27.2% となっている。

図 2-26. 刑を終えて出所した人の人権問題の存在認識—年齢別

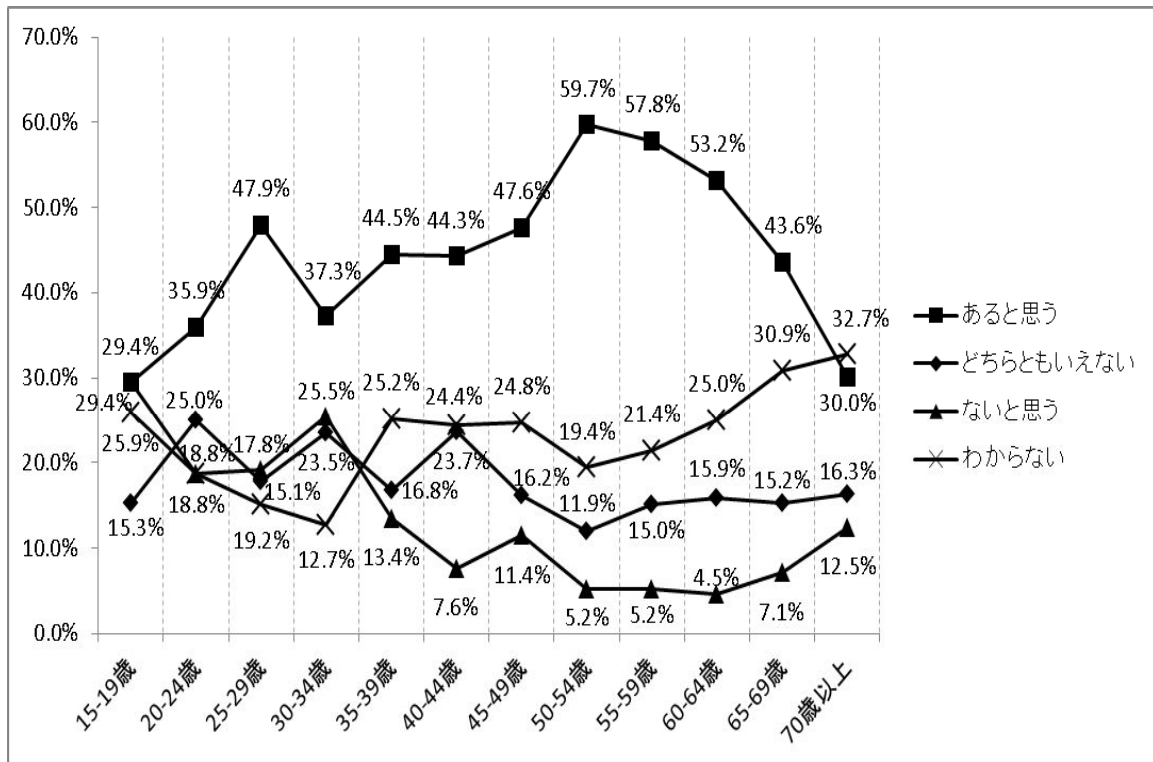


図 2-26 は、刑を終えて出所した人の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「50～54 歳」59.7%が最も高く、次いで「55～59 歳」57.8%、「60～64 歳」53.2%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「20～24 歳」25.0%が最も高く、次いで「40～44 歳」23.7%、「30～34 歳」23.5%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」29.4%が最も高く、次いで「30～34 歳」25.5%となっている。

「わからない」と回答した人は、「70 歳以上」32.7%が最も高く、次いで「65～69 歳」30.9%となっている。

11. 犯罪被害者やその家族の人権問題

図 2-27. 犯罪被害者やその家族の人権問題の存在認識—全体・性別

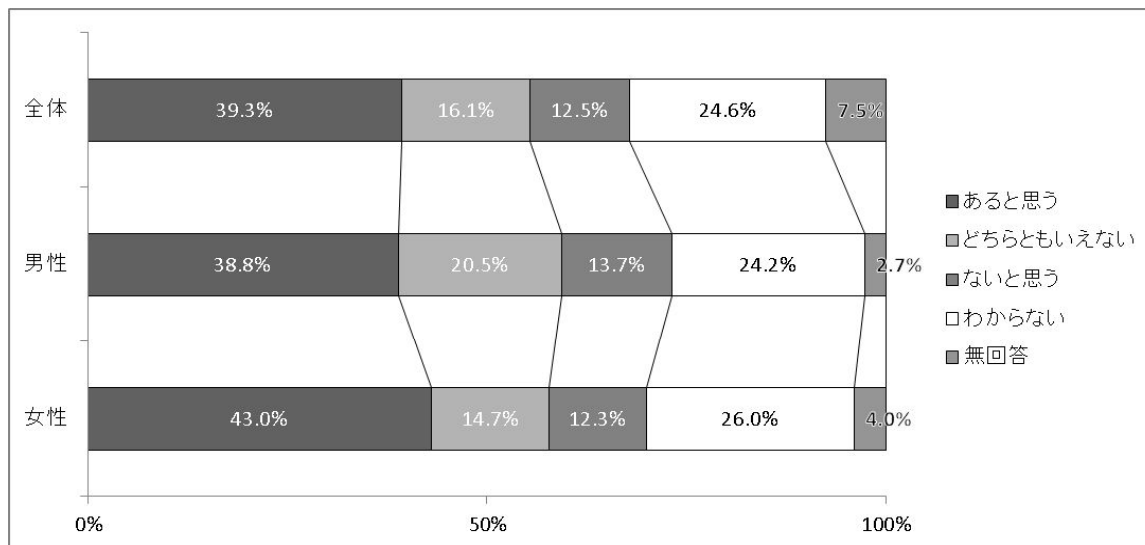


図 2-27 は、犯罪被害者やその家族の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 39.3% となっており、性別では、男性 38.8%、女性 43.0% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 16.1% となっており、性別では、男性 20.5%、女性 14.7% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 12.5% となっており、性別では、男性 13.7%、女性 12.3% となっている。

図 2-28. 犯罪被害者やその家族の人権問題の存在認識—年齢別

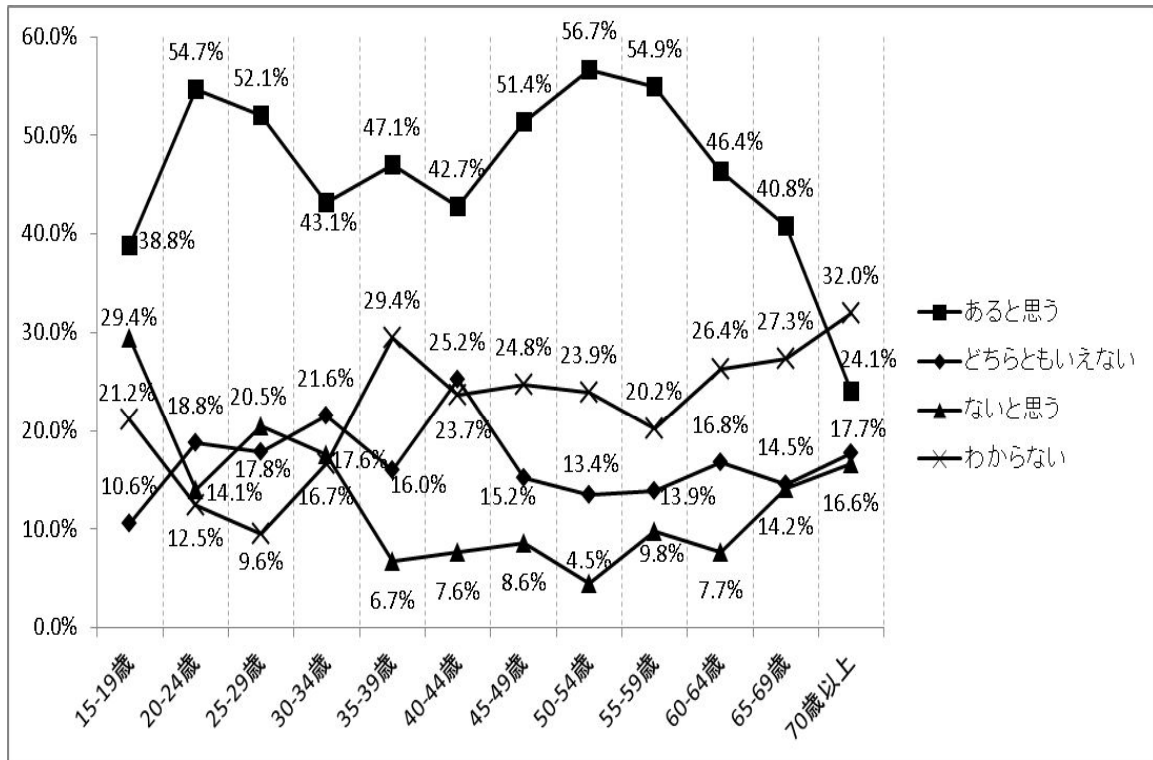


図 2-28 は、犯罪被害者やその家族の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「50～54 歳」56.7%が最も高く、次いで「55～59 歳」54.9%、「20～24 歳」54.7%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」25.2%が最も高く、次いで「30～34 歳」21.6%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」29.4%が最も高く、次いで「25～29 歳」20.5%となっている。

「わからない」と回答した人は、「70 歳以上」32.0%が最も高く、次いで「35～39 歳」29.4%となっている。

12. 性的マイノリティの人権問題

図 2-29. 性的マイノリティの人権問題の存在認識—全体・性別

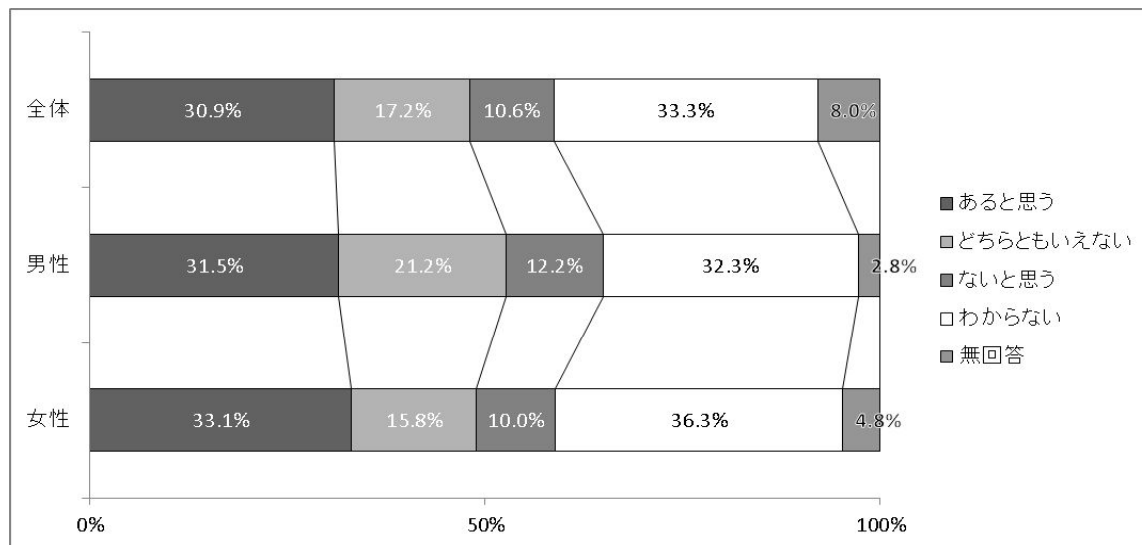


図 2-29 は、性的マイノリティの人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 30.9% となっており、性別では、男性 31.5%、女性 33.1% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 17.2% となっており、性別では、男性 21.2%、女性 15.8% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 10.6% となっており、性別では、男性 12.2%、女性 10.0% となっている。

「わからない」と回答した人は、全体では 33.3% となっており、性別では、男性 32.3%、女性 36.3% となっている。

図 2-30. 性的マイノリティの人権問題の存在認識—年齢別

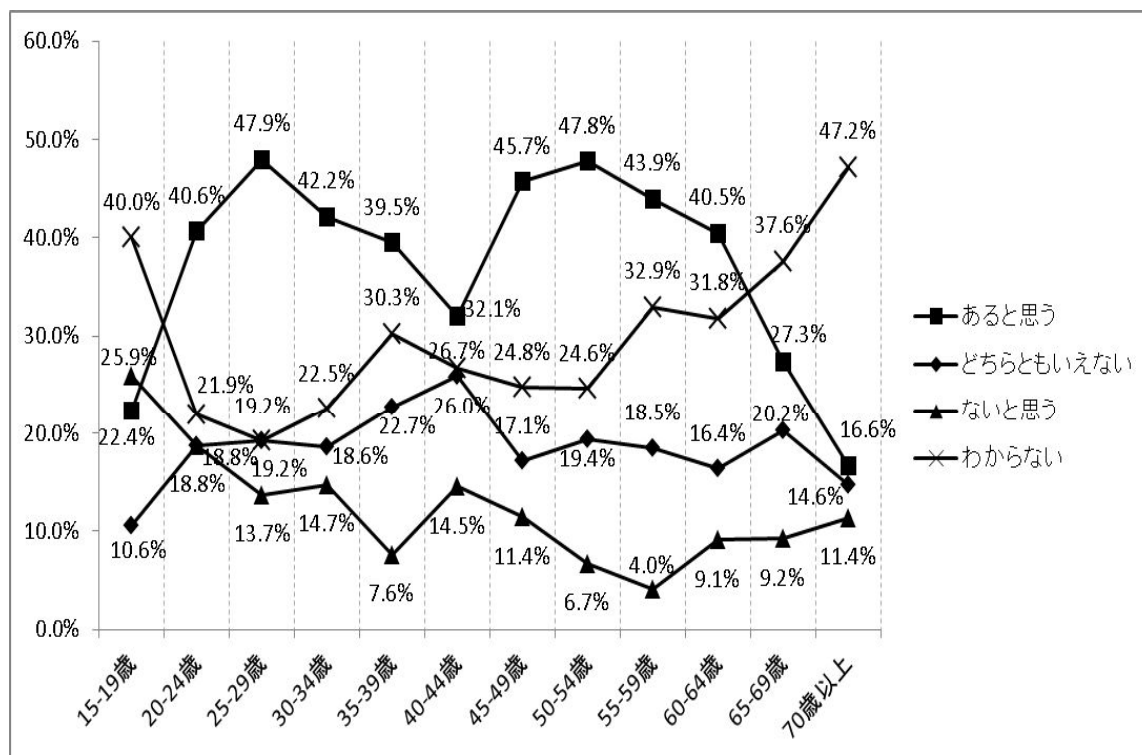


図 2-30 は、性的マイノリティの人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「25～29 歳」47.9%が最も高く、次いで「50～54 歳」47.8%、「45～49 歳」45.7%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」26.0%が最も高く、次いで「35～39 歳」22.7%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」25.9%が最も高く、次いで「20～24 歳」18.8%となっている。

「わからない」と回答した人は、「70 歳以上」47.2%が最も高く、次いで「15～19 歳」40.0%となっている。

13. パワー・ハラスメントに関する人権問題

図 2-31. パワー・ハラスメントに関する人権問題の存在認識—全体・性別

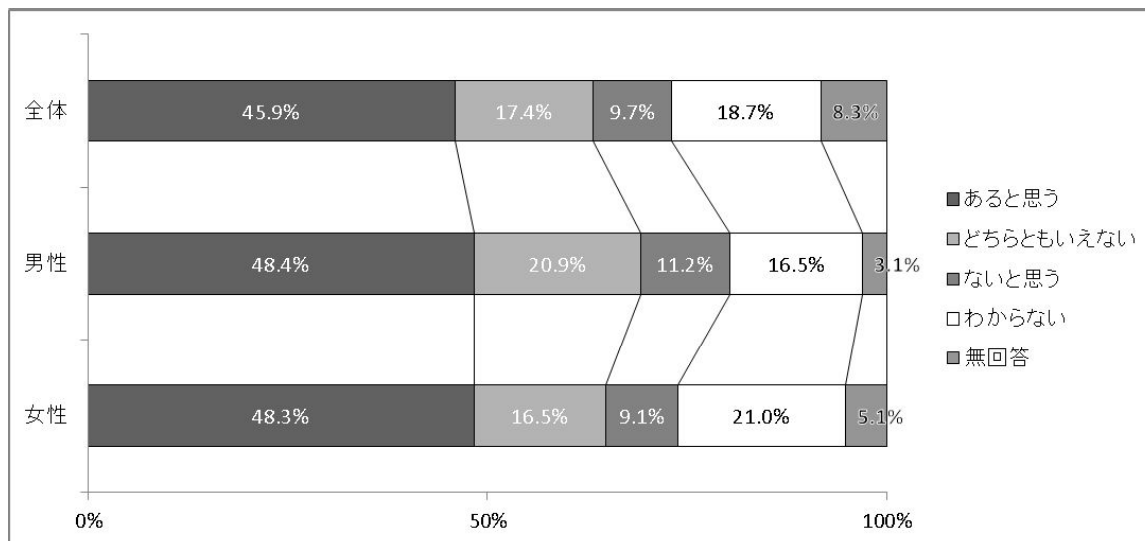


図 2-31 は、パワー・ハラスメントに関する人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 45.9% となっており、性別では、男性 48.4%、女性 48.3% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 17.4% となっており、性別では、男性 20.9%、女性 16.5% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 9.7% となっており、性別では、男性 11.2%、女性 9.1% となっている。

図 2-32. パワー・ハラスメントに関する人権問題の存在認識—年齢別

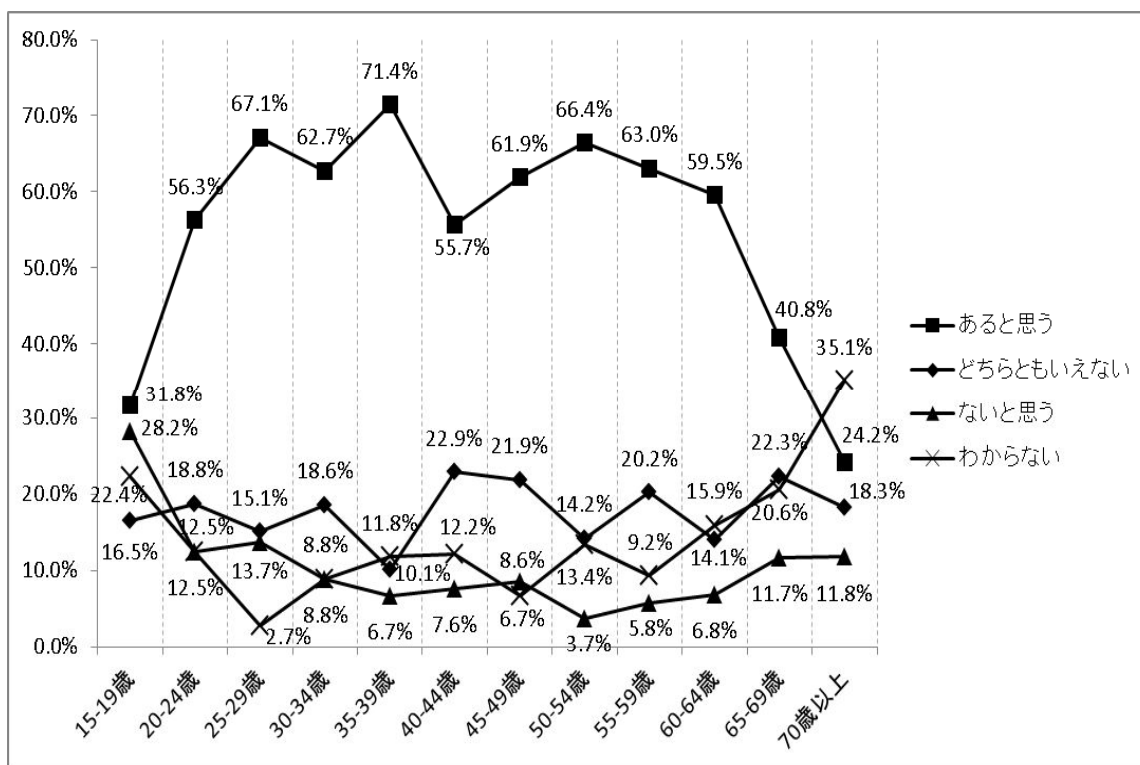


図 2-32 は、パワー・ハラスメントに関する人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「35～39 歳」71.4%が最も高く、次いで「25～29 歳」67.1%、「50～54 歳」66.4%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」22.9%が最も高く、次いで「65～69 歳」22.3%、「45～49 歳」21.9%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」28.2%が最も高く、次いで「25～29 歳」13.7%となっている。

14. 非正規雇用等による生活困難者の人権問題

図 2-33. 非正規雇用等による生活困難者の人権問題の存在認識―全体・性別

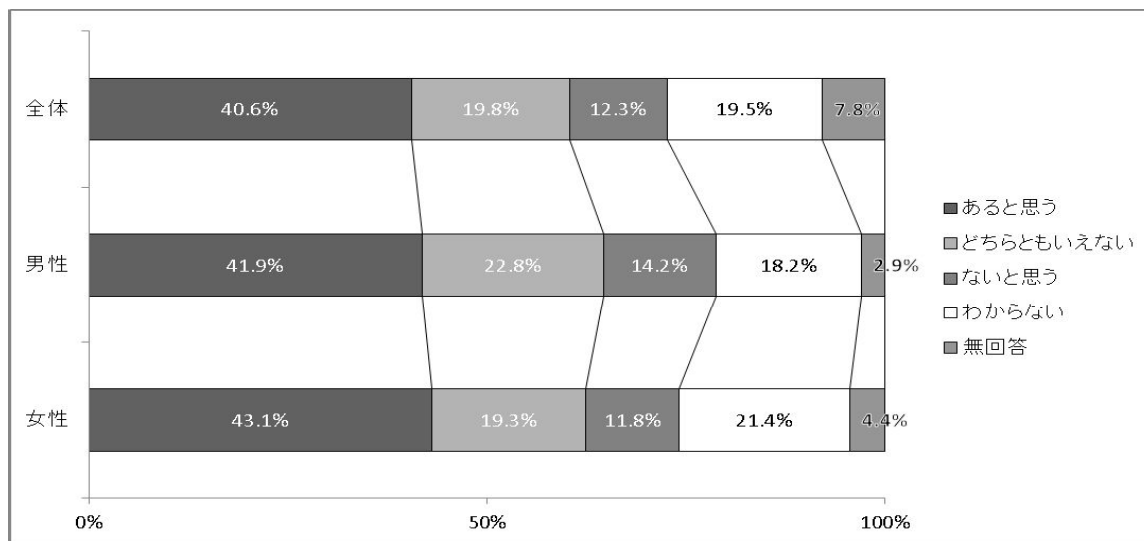


図 2-33 は、非正規雇用等による生活困難者の人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 40.6% となっており、性別では、男性 41.9%、女性 43.1% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 19.8% となっており、性別では、男性 22.8%、女性 19.3% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 12.3% となっており、性別では、男性 14.2%、女性 11.8% となっている。

図 2-34. 非正規雇用等による生活困難者の人権問題の存在認識—年齢別

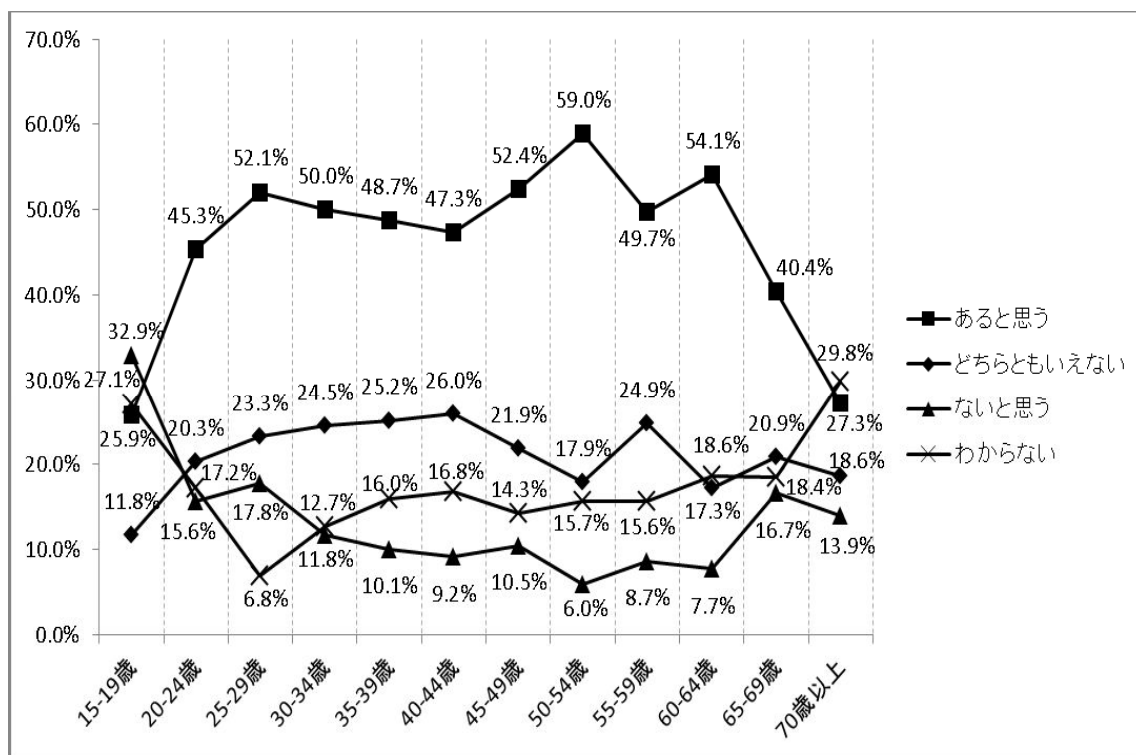


図 2-34 は、非正規雇用等による生活困難者の人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「50～54 歳」59.0%が最も高く、次いで「60～64 歳」54.1%、「45～49 歳」52.4%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「40～44 歳」26.0%が最も高く、次いで「35～39 歳」25.2%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」32.9%が最も高く、次いで「65～69 歳」16.7%となっている。

15. インターネットにおける人権問題

図 2-35. インターネットにおける人権問題の存在認識—全体・性別

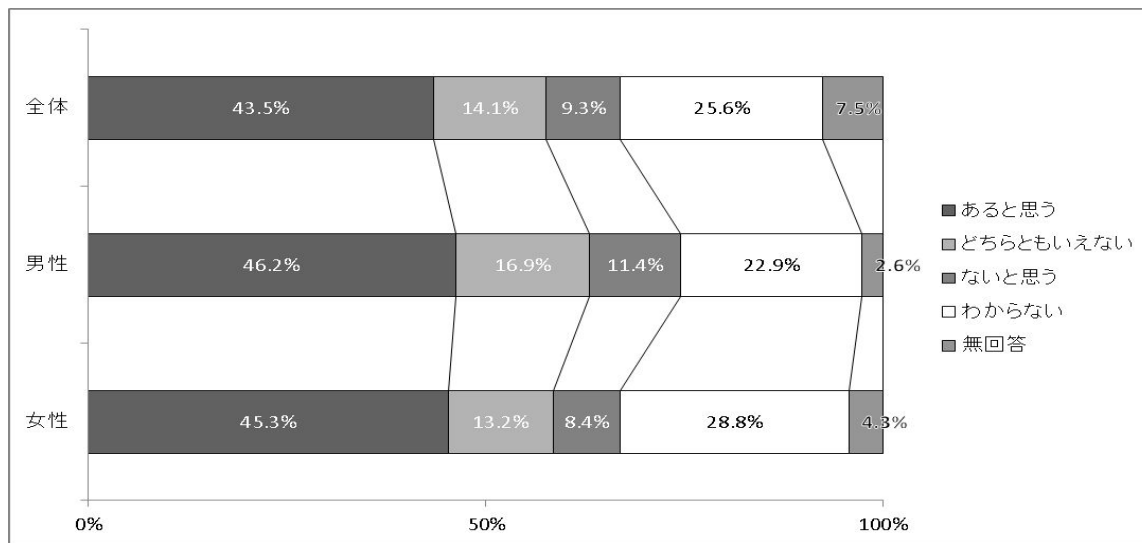


図 2-35 は、インターネットにおける人権問題の存在認識をみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 43.5% となっており、性別では、男性 46.2%、女性 45.3% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 14.1% となっており、性別では、男性 16.9%、女性 13.2% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 9.3% となっており、性別では、男性 11.4%、女性 8.4% となっている。

「わからない」と回答した人は、全体では 25.6% となっており、性別では、男性 22.9%、女性 28.8% となっている。

図 2-36. インターネットにおける人権問題の存在認識—年齢別

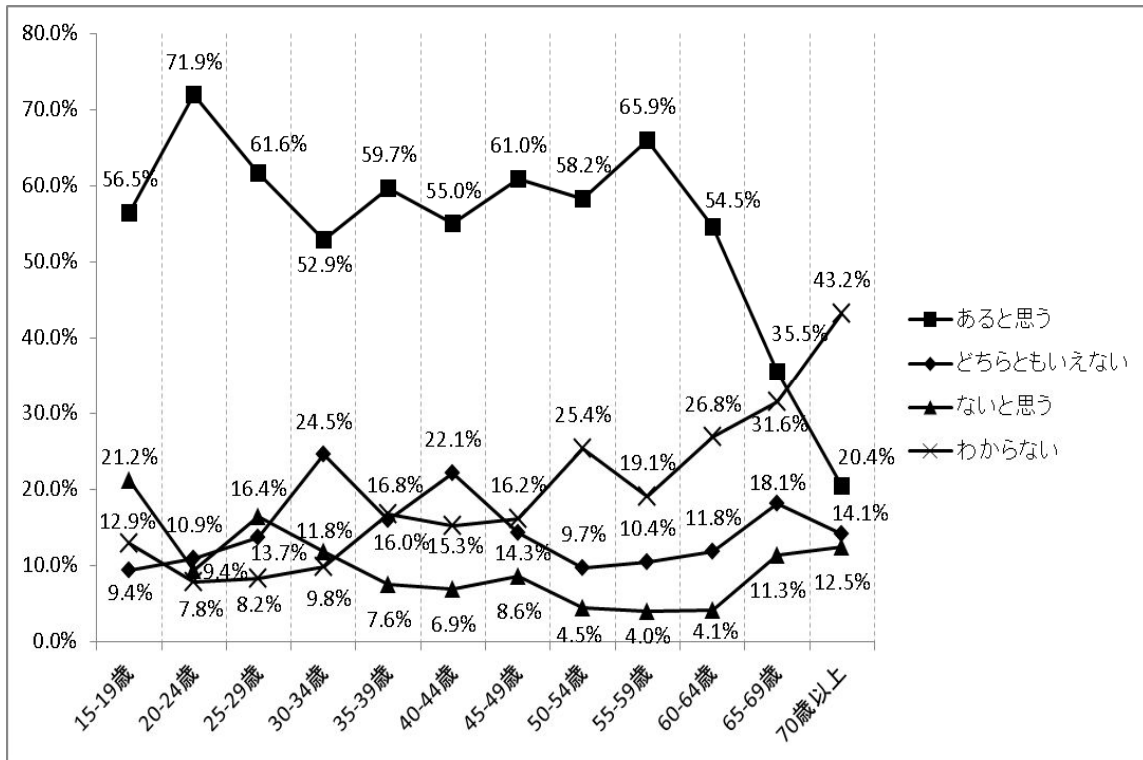


図 2-36 は、インターネットにおける人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「20～24 歳」71.9%が最も高く、次いで「55～59 歳」65.9%、「25～29 歳」61.6%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「30～34 歳」24.5%が最も高く、次いで「40～44 歳」22.1%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」21.2%が最も高く、次いで「25～29 歳」16.4%となっている。

「わからない」と回答した人は、「70 歳以上」43.2%が最も高く、次いで「65～69 歳」31.6%となっている。

16. 災害時における人権問題

図 2-37. 災害時における人権問題の存在認識—全体・性別

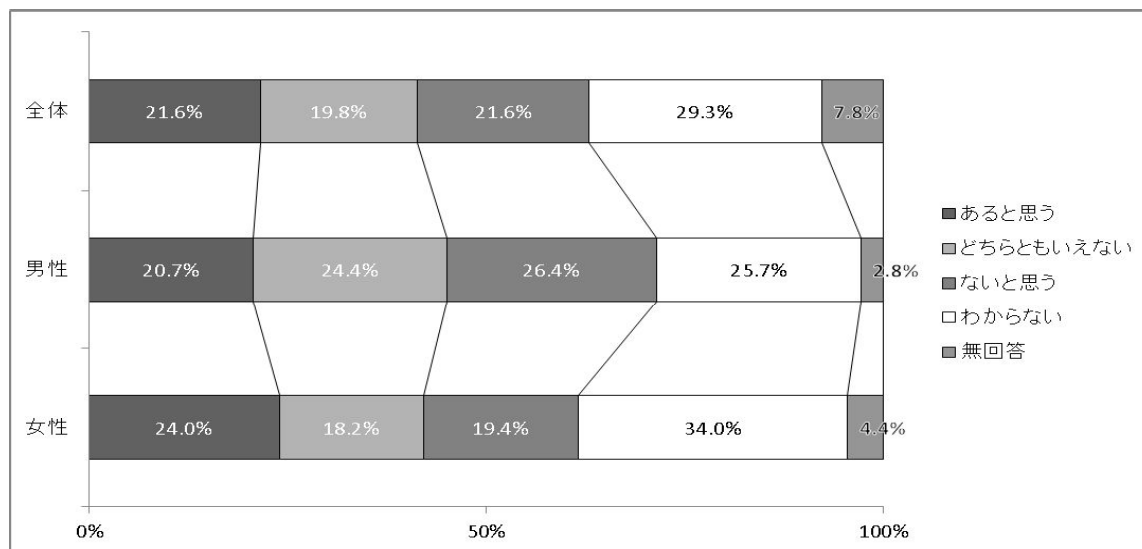


図 2-37 は、災害時における人権問題の存在認識を性別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、全体では 21.6% となっており、性別では、男性 20.7%、女性 24.0% となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、全体では 19.8% となっており、性別では、男性 24.4%、女性 18.2% となっている。

「ないと思う」と回答した人は、全体では 21.6% となっており、性別では、男性 26.4%、女性 19.4% となっている。

「わからない」と回答した人は、全体では 29.3% となっており、性別では、男性 25.7%、女性 34.0% となっている。

図 2-38. 災害時における人権問題の存在認識—年齢別

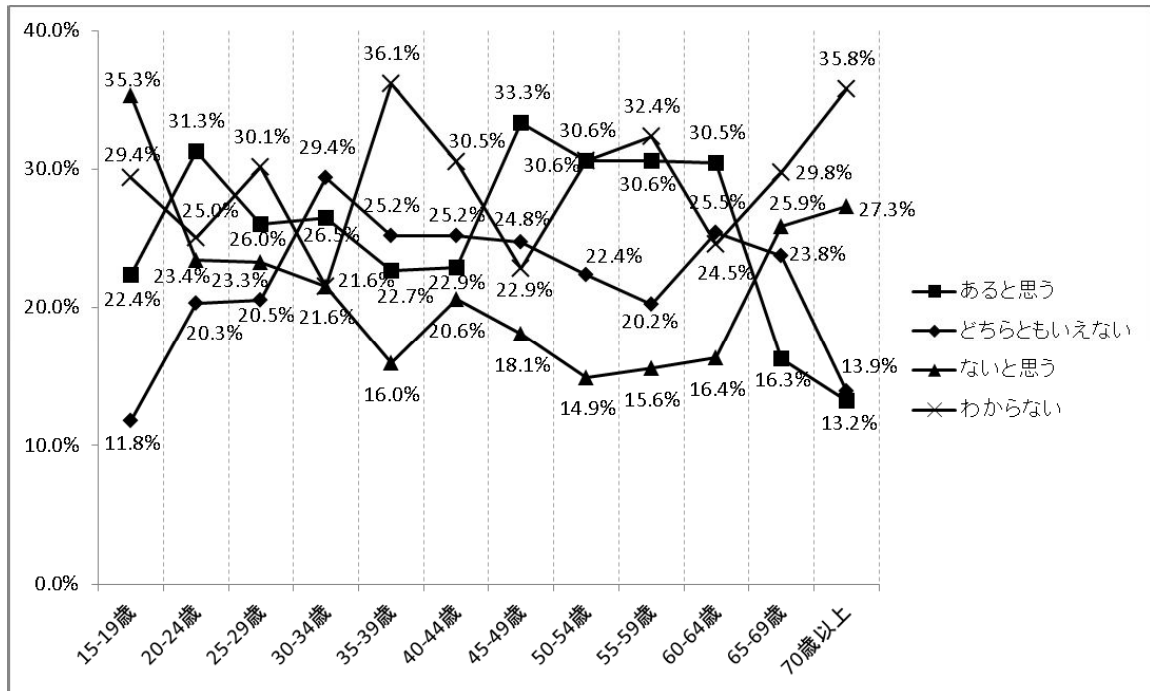


図 2-38 は、災害時における人権問題の存在認識を年齢別にみたものである。

「あると思う」と回答した人は、「45～49 歳」33.3%が最も高く、次いで「20～24 歳」31.3%、「50～54 歳」「55～59 歳」30.6%となっている。

「どちらともいえない」と回答した人は、「30～34 歳」29.4%が最も高く、次いで「60～64 歳」25.5%となっている。

「ないと思う」と回答した人は、「15～19 歳」35.3%が最も高く、次いで「70 歳以上」27.3%となっている。

「わからない」と回答した人は、「35～39 歳」36.1%が最も高く、次いで「70 歳以上」35.8%、「50～54 歳」30.6%となっている。